

2024年春のチャリキャンプラント旅（その一）

野田 俊

ロングツアーや始めた5年目にならぬ2024年春の旅は、信州飛騨北陸地方を巡るGWグループプランから始まり、その後、金沢から愛知県まで南下し、渥美半島と伊勢を走る本州OBランに参加してから、北海道に向けて北上する。そして、今回最大のミッションは、厳しいアップダウンが多いと云われている佐渡ヶ島一周だ。5年前、初めて佐渡ヶ島へ行った時は、金山など中央部を齧（かじ）つただけなので、一度きちんと廻ってみたいのだ。その後は、秋田、青森、そして函館へ渡り、7月中旬に道南の瀬棚で開催される北海道OBランに参加する。そして7月下旬から8月上旬にかけては、パリオリンピックが開催されるので、神戸へ一時帰宅して、日本の試合を中心にして観戦したのち、北海道へ戻り、会社同期のM本氏と一緒に帯広から襟裳岬を廻って千歳まで走るところ、約4ヶ月に渡る壮大な旅が今年も始まる。

●2024年4月27日（土） 1日目 曇り 南西1m

【走行距離〇・4km 獲得標高120m】

神戸北町→車→新神戸駅→JR→奈良井駅→奈良井宿

元々の計画では、4月22日の用曜日に自宅を出て、豊橋からキャンプしながら、天竜川沿いに走上して中山道の奈良井宿までの200キロを五日かけて走るつもりだったが、天候不順のため、足慣らしは断念して、GW初日に新神戸駅から長野県の奈良井駅まで一気に輪行する。昨秋、宿古島から帰還してから五ヵ月間、全く自転車に乗



自転車とバッ



つておらず、ハードなGWランがぶつかけ本番になるので、 Pruitt心配である…。

グ3個を車に積み込み、新神戸駅まで移動し、12時過ぎの新幹線で名古屋へ。特大荷物が置ける最後尾の席を確保していたが、2列シートの方だったので、自転車を立てるのを覚悟していたところ、3列シートのおじさんが「ここに置こうよ」と伝ってくれたので、横にした状態で置くことができた。そして、幸いにも新大阪、京都から3列シートに座る人が来ず、無事、名古屋に到着し、そこから「特急しなの」に、木曽福島からは普通に乗り換えて、16時、奈良井駅にやっと着くと、塩尻から走ってきて、既に先着していたサーカルOBの4人が出迎えてくれた上に、荷物運びも手伝ってくれ、プ



チ感謝。中山道の宿場町の一つである奈良井宿は、「重要伝統的建造物群保存地」に指定されており、今 日、お世話になるお宿「民宿かど「」さんや、純日本式家屋である。なので、建物は古いが、お風呂、洗





【本日の旅】¥25,950（料金費¥13,930、宿泊料¥11,200）
 ●NOVEMBER 4TH 2018 (木) ～木曽山 晴れ 曇り 標高1,000m
 【走行距離100km】獲神標高1,000m

奈良井→鳥居トンネル→木曽福島→三岳→開田高原→日和田高原



固所、トインは最新版で、部屋や施設が何より嬉しいこと、気持がここ。女将や人に聞くと、ロナ禪の時に、コトハーモンしたらしい。シヤースナルージハイズに11—2で大勝するが、大浴場4—0に終わる…。阪神が、前日の試合で3つもHitterした木浪に代わって先発した小幡の攻撃は渡り足躍で、やカルトニーー4ドリフトが勝つ。
 【走行距離】：12.0km/h

【走行距離】：12.0km/h



したの、仕切だよ。しかし、少しだけ、少しだけ、標高1,000m付近にある廻原(ひりはら)廻原あいだにあらぬ宿に泊まることになったのだが、それでや、こんな風に宿に朝食を頼む、て路に宿を出る、トントドルかねるのよ、田道の鳥居峠へ向かう、いわばの急坂を駆つてこく本隊を見送り、筆者たる奈良井宿にある「鎮神社」で、旅の安全祈願をしてから、自転車も通れる鳥居トンネルを抜けて、木



今田が実質の初日だが、これがこの100ミリのアップしたければならないところなので、朝から気分が重い…。近年は自分がどのどのコースや宿を決めていたが、今回は、皆大好きのが立てた計画に乗つかねじる。したの、仕切だよ。しかし、少しだけ、少しだけ、標高1,000m付近にある廻原(ひりはら)廻原あいだにあらぬ宿に泊まることになったのだが、それでや、こんな風に宿に朝食を頼む、て路に宿を出る、トントドルかねるのよ、田道の鳥居峠へ向かう、いわばの急坂を駆つてこく本隊を見送り、筆者たる奈良井宿にある「鎮神社」で、旅の安全祈願をしてから、自転車も通れる鳥居トンネルを抜けて、木





なつている…。他にも、山頂近くの登山道の手すりが曲がり、千切れている写真もあり、大きな石が大量に飛んできたことがよくわかる。丁



通りながら、9時半、木曽福島の町に着き、ランチ用の弁当を買ってから、標高750mから1350mまで600mアップのルートに入る。県道20号は、御獄山に繋がる道で、道の駅と、10年前に起きた、あの水蒸気噴火によるビジターセンターがある。中に入ると、山頂に



曾福島までの下りを楽しむ。木曾福島までは、一年前、逆に上ってきた道なので、木曽駒高原、木曽義仲と田御前の碑など懐かしい場所を



そして、道端にはかわいい黄色い花が咲いていて、調べると、「やまぶき」のようだ。13時、丁度、600mアップの中間地点に当たる標高1040mの御岳口一ブウエイへの分岐まで来ると、残雪





いのち、人生初めて
普通の峠道を、自転
車を下りて全押しす
ること…。痛い右
足を引きながら登つてみると、道端
に、少し大きくなっ
た「ふきのどり」



てくねむ、1リットル
あつた水もなくなり、
暑さと疲れでつらつら
…。このままではおま
いので、近くにあった
リゾート風の「ホテル木
曾温泉」に入り、ロビー
にいたおねえさんと、
「水を分けてください



お願いすね、快くボトルに水を入れてくれて、チク感謝。しかし、
このあと、太ももが繋り始め、痛みをこじえながら、ペダルをこぐ
も、5分おきに小休止しないと走れなくなる…。14時過半、開田高
原に向とか着き、勾配は緩くなるも、最後に、150mアップの長峰
峠がある。でも、もう、力が残っていない

が一疲れ切った筆者を慰めてくれてよつた。木曽福島から縁の始
めてランチもせず、5時間半後の15時半、やっと長峰峠に着き、岐
阜県高山市に入る。少し下り、今日の宿「スポーツインオラ」に着き、
外のバルコニーで、じらから&じやに弁当を出して、缶ヒールをお友
に遅めのランチを済まし、お風呂に入るが、脚が繋って洗つていられ
ない…。阪神は、ヤクルトに負けたが、サンタナが大山の平
凡なレフトフライをキャッチできず、4-3のまさかの逆転勝ち!超
しんどい一日だったが、終わり限ればいいよ。

【走行時間4:50 平均速度11.1km/h】

【本日の会計】¥10,535 (宿代¥8,800 他)

●2024年4月26日(月) 3回目 晴れ曇り 南西5
【走行距離50km 獲得標高280m】





リカ系の人が一人。あとで、宿のおねーさんに聞くと、「ケニアの人で、実業団のランナーとして、ここで合宿生活をしてる」という。すぐ近くには、陸上競技場があり、標高1300mもあるので、

高所トレーニングに適しているらしい。今日からも、関東の大学陸上チームが合宿に来る、とのこと。の時に出発ジャンプを決めて、その競技場へ行くと、立派なブルーの400mトラックがあり、走る準備をしている学生さんが何人もいる。15キロほど下りだ、



今日は、北西に進み、高山まで約50キロの旅だが、基本上、ずっと下りなので、気分はいい。6時半に起きて8時から朝食なので、食堂へ行くと。昨夜もう一度だったが、**長距離ランナー**っぽいアフ



「青冰の滝」の看板があるも、近くを探しても滝は見えず、看板をよく見ると、「地下水が染み出て凍つてできる滝なので、真冬にしか見られない」とあり、ブチ残念…。更に下つてみると、道に沿つて桜がまだ咲いており、手に取ると、ソメイヨシノより花びらの数が多いので、調べると「サトザクラ」という種類らしい。高山の南東にある朝日村に入り、生活道路を走つてみると、いろいろなお花が道端に咲いている。まずは、スズラン、かと思ったが、よく見ると、葉っぱがスズランより細く、可愛い花も先端が緑色なので、調べると「スノーフレーク(別名・鈴蘭水仙)」といひつい。そして、春の定期「チューリップ」も丁度満開だ。最後

て桜がまだ咲いており、手に取ると、ソメイヨシノより花びらの数が多いので、調べると「サトザクラ」という種類らしい。高山の南東にある朝日村に入り、生活道路を走つてみると、いろいろなお花が道端に咲いている。まずは、スズラン、かと思ったが、よく見ると、葉っぱがスズランより細く、可愛い花も先端が緑色なので、調べると「スノーフレーク(別名・鈴蘭水仙)」といひつい。そして、春の定期「チューリップ」も丁度満開だ。最後



「青冰の滝」の看板があるも、近くを探しても滝は見えず、看板をよく見ると、「地下水が染み出て凍つてできる滝なので、真冬にしか見られない」とあり、ブチ残念…。更に下つてみると、道に沿つて桜がまだ咲いており、手に取ると、ソメイヨシノより花びらの数が多いので、調べると「サトザ克拉」という種類らしい。高山の南東にある朝日村に入り、生活道路を走つてみると、いろいろなお花が道端に咲いている。まずは、スズラン、かと思ったが、よく見ると、葉っぱがスズランより細く、可愛い花も先端が緑色なので、調べると「スノーフレーク(別名・鈴蘭水仙)」といひつい。そして、春の定期「チューリップ」も丁度満開だ。最後





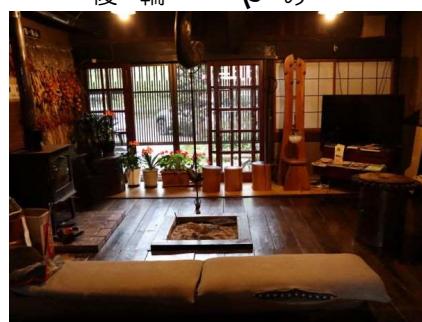
ば、**芝桜**だが、紫色は珍しい気がする。「**美女峠**」と書いた標識があるが、よく見ぬし、「女」の文字と右矢印だけが、なぜか消えてしまっている…。故意なのか、自然に色あせてしまったのか、わからぬが、早く修復すべきだ、と思つ。その美女峠をショートカットで走るトンネルへ向かっていようと、「美女街道」の石碑があり、その向いには、標高3000m級の乗鞍岳連峰が望める。昨日のダメージが大きく、全然回復しないが、トライ助けられて、何とか、高台に着くや、今口の宿「**民宿長五郎**」は、激坂の上にあり、最後に苦しみられたね…。13時に着いたらしあつたので、お宿の玄関前で緑茶ランチを食べて、13時半には部屋に入れてくれて、お風呂も16時かららしいが、14時半に入れて、プチラッキー。

若い主人は、愛想は悪いが、いい人かもしれない。15時半頃、一人が到着するが、あとの人

右矢印だけが、なぜか消えてしまつたのか、わからぬが、早く修復すべきだ、と思つ。その美女峠をショートカットで走るトンネルへ向かっていようと、「美女街道」の石碑があり、その向いには、標高3000m級の乗鞍岳連峰が望める。昨日のダメージが大きく、全然回復しないが、トライ助けられて、何とか、高台に着くや、今口の宿「**民宿長五郎**」は、激坂の上にあり、最後に苦しみられたね…。13時に着いたらしあつたので、お宿の玄関前で緑茶ランチを食べて、13時半には部屋に入れてくれて、お風呂も16時かららしいが、14時半に入れて、プチラッキー。



は、今田から仙流する三村先輩と一緒に、高山の北にある千光寺へ寄つてこし、夕食の1の時ギリギリに到着。三村さんの神社寺院好きは相変わらずで、宿に直行する筆者とは気合が違う。飛驒牛やホタルイカなどボリュームたっぷりの夕食を頂きながら、みんなの話を聞いていると、「美女峠辺りに群生している水芭蕉を見るために、楽なトンネルを通



●2024年4月30日(火) 4日目

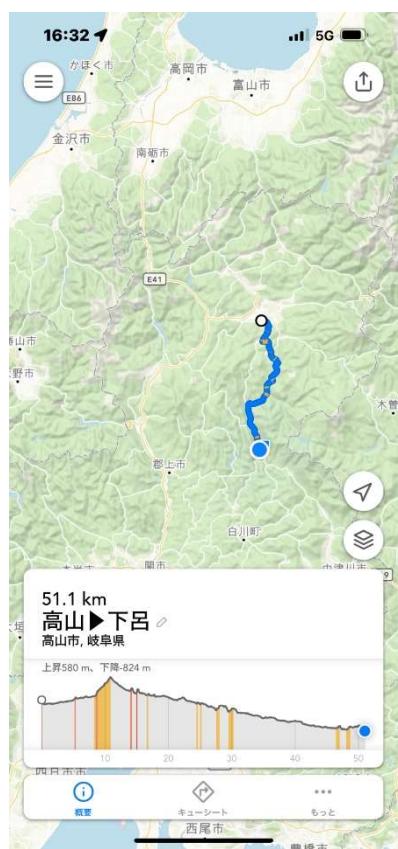
曇り一時小雨 無風

【走行距離57km 獲得標高441m】

高山→飛驒一宮→久々野(くぐの)→飛驒小坂→下呂



今日は、ひたすら50キロ南下して温泉で有名な下呂までの旅だが、天候が怪しい…。畳なり、JR高山本線で下呂まで輪行するにとも考えたが、何とか持たなかつたので、取り敢えずスタートして、もし雨が降ってきたら輪行することに。朝食に、飛驒名物の「味噌の朴葉(ほうば)焼き」があり、香ばしい味噌より朴葉の大きな葉っぱの方が、懐かしい。と云つのは、昔、飛驒の山道を走っている時、この大きな葉つ



やんと御朱印も貰えるので、安全祈願後、社務所へ寄り、御朱印帳を出すも、金部埋まつてゐる…。仕方ないので、御朱印帳を貰おうとしたら、社務所のにーちゃんが「最後のページが空いてますよ」と云つるので、そのまま渡すも、「2000円の御朱印帳を買つと、500円の記入代は無料」と書いてある。なので、新しい御朱印帳と合わせて2000円を払つと、「それはできない」と云われ、2500円払つことになる。メチャヤ損



はが一杯落ちてい
て、これを持つて帰
れば、朴葉焼きがで
きぬ、と思つたが、
バリバリなので、こ
の状態のまま保持す
るのは無理と見てや
めたことがあり、こ
の朴葉もきっと秋に
山奥へ行って拾つてきたものだわつ、と思つ。





した氣分なので、新しい方にも書いてもりい、同じ御朱印が二つになる…。飛驒一宮駅の近くに「臥龍(がりゅう)桜」と云々と名所があるりして寄ると、桜はもう終わって



隊は、県道が工事で通行止めになっていたりしが、同じ標示面へ着く。夕食が付いてないので、温泉街の居酒屋「むとう」へ行くと、愛想が全くないに一ちゃんに、居酒屋なのに「定食しかない」と云われ、みんなで「けいちゃん焼き定食」を食べぬも、イマイチで、お皿のお店にあつた鉄板ジコージャーの方を食べたかったわ…。因みに、けいちゃんとは鶏の「けい」であり、味噌や醤油で漬け込んだ鶏肉を野菜と一緒に炒めた飛騨地方の名物料理である。北海道の郷土料理「鮭のちやんちゃん焼き」と味付けも名前も似ている。阪神は、村上の好投とノイジ、坂本の活躍で、広島の床田をおち崩して、7-1の快勝となり、これで貯金が6つ。

【走行時間3:26の 平均速度 16.3km/h】

【本日の会計】¥16,842 (宿代¥6,700 合計)

●2024年5月1日(水) 5日目 雲り一時小雨 北33

【走行距離10.5km 獲得標高2,111m】

ト呑駅→JR→美濃太田駅→長良川鉄道→郡上八幡(相生駅)→板取



今日は、下呂から西へ向かい、郡上八幡の西にある板取と云う小さな町まで約80キロの予定であつたが、山越えを回避できる新しそうなトンネル一本が、いずれも自動車専用道であることがわかり、

山越えすなが、川沿いで遠回りするしかないので、輸行すなじに決める。宿のお風呂せ、源泉掛け流しで、朝もはこれるので、歩き出す。朝食は付いてない、まあまあの献立だが、生卵がないので、マイエサを手にしてKGとなる。8時にラムネ屋を出て、三つの峠を越え

るハードなルートを行くみんなを見送り、ひとり、下呂駅へ向かう。自転車を袋に詰める。列車が来るまで待つていろと、ポケットに宿のカギが!幸いにも、宿は駅から近く、徒歩で返しにいけたの





で、事なきを御たが、一年前にや、返し忘れて
のーパックで送り返したことがあり、ホンマ注
意しなくては、と反省する。駅へ戻る途中、土
産店に寄り、飛驒の如物土産とおやつ、しつ
しかなうカツフルな「わるぼく」ちゃんが、これ
でもか、といふほどの並んでいる。因み
に、ウチにも、なせだか、嫁さんが実家から持
ってきた赤い大きめの「わるぼく」ちゃんが、これ
昔からいる。特急ひだ号に乗るわかつたった
が、美濃太田駅での乗り換え時間が短く、心配なので、特急の前に来
る普通列車に変更し、改札前のホームから乗車する。100分で美濃
太田駅に着き、意外に近かった長良川鉄道のホームに荷物を置き、発
車まで1時間ほどあるので、駅前にあったカツ「花笑み」でナポリタン
を注文するも、少な目で塩分も高くてちょっと
…。大谷の試合を観ようとアグマを開けると、峰
が球場のバックネットに巣を作ったとしてて、
その駆除作業が映っている。シバチには申し訳
ないが、やむを得ない…。13時、意外に乗客が
多い一両編成の気動車に乗り、こぎ郡上八幡へ。
…のつもりだったが、ちょっと行き過ちた、階段
があると嫌なので、ひとつ手前の無人駅「相生
駅」で下車し、組み立てておもむり、珍しく「リカ
ンベント車」が一背もたれに寝そべった状態で前



方のペタルをいじぐスタイルで、朝食抜擢が少ない凶画、上
りでは体重をかけてしげなうので、非越えには向いていない。見た田、同年代のおじさんで、豊橋在住、キヤンプしながら全国の鉄道駅を撮影する旅をしていて、今回が、長良
川鉄道の駅を全て動画に収めてコーチコーブにアップす
る、このじと。筆者と違つて、基本、キャンプ場には泊ま
るが、公園や道の駅でテントを張つて野宿してらぬが、一
度も注意されたことはないらしい。お互いに、自転車を撮
り合ひ、なせか名刺もくれて、リカンベンントおじさんは颯
爽と次の駅へ向かって行った。

板取のお宿「千家」まで、
450mアップのタラガ峰があるが、川沿いに150mア
ップするだけで、自転車も通れるトンネルがあり、心配していた箇も
止んだので、快調に走る。タラガトンネルは狭せがらキロ弱もあり、
広い歩道もないのに、車道を走るしかないが、後ろから抜かれたのは
2台だけだ、しかもキロ中4キロは下りなので、気持ちよく走れ
る。16時、宿へ着くと、本隊はもう到着しており、聞くと、タラガ
トンネルも通り抜、わざわざつい田道の峠を登つたとのことで、ブ
チ呆れる。1Jの忍びは、山女魚(やまね)が名物らしい、夕食は、山
女魚の塩焼き、鮎の甘露煮、岩魚の唐揚げのまさしく川魚三昧で、全
て美味しく頂く。阪神は、広島といふ二つの市を分け…加治屋投手が出
した一いつの四球が痛かった。

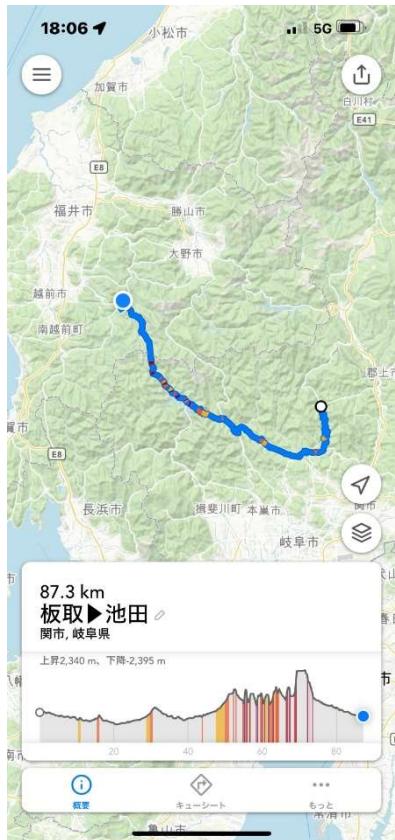
【走行時間3：29 平均速度 16.3km/h】

【本日の旅費】¥16,842 (宿代¥6,700 合計)

2024年春のチャリキャンプひとつの旅(その1)

野田 俊

●2024年5月2日(木) 6日目 晴れ曇り 北23
板取→洞戸→根尾→徳山湖→冠山トンネル→池田町



今日は、昨年、開通したばかりの岐阜県北西部から福井県に抜けるトンネル通り池田町まで約90キロの旅。長い上にしんどそうな山越えが三つもあるので、輪行したいが、鉄道がないので、走るしかない…。一方、天候は、昨日までの雨模様から良くなり、晴れそ
うだが、風向きは北からの向かい風なので、きつい一日にならそうだ。8時に本隊と一緒に出発し、川沿いの下りを最後尾から走っていると、昨日から加わった後輩のサカナこと



名前にあまりにも似ていると、「モネの池」としてのことで拡散したらしいが、元々は湧き水でできた自然の「名もなき池」で、地元の人気がスイレンを植えたり、錦鯉を放つたり、バズってしまったようだ。自転車はタダだが、車は、「環境整備協力金」として、500円も取られるのに、それでも映えたいのだらう…。一応、写真だけ撮って本隊よ
り先に出るも、すぐに抜かれてしまう。でも、「道の駅ラスティン洞戸
(ほりど)」で休憩している本隊を追い越して、また先行するが、洞戸
からは上りになり、またすぐに抜かれるわ、と思っていたが、全然來
ず、結局1時間ほど経つて峠道に入つてから、ついに抜かれる。どうも、道を間違えたようで、全然違う方向へ進んでいたらしい：一緒じゃなくて良かった、と思う。また最後尾となり、ひとり、のんびり走つて

S田氏が見どじいの場所で待っていてくれるも、先を急ぐべく、スルー。しかし、人がやたら見えてるので、寄ってみると、小さな池の周りに人がいっぱいいる！なんでも、画家のクロード・モネの



いよいよ、「やまぼうし街道」の看板があり、この花を探しながら進むが、

結局見当たりず…。10時半、最初の峠、標高3



300mの尾並坂峠に着き、休憩している本隊をまた抜いて、日本三大桜がある根尾の町まで下る。「根尾谷薄墨(うすみ)桜」というしだれ桜は、高台にあり、桜はもう散っているだら

うから、筆者はスルーして先を急ぐ。因みに、日本三大桜は、樹齢1500年のいの薄墨桜、樹齢2000年の山梨県にある「神代(じんだい)桜」、そして樹齢1000年の福島県にある「三春滝(みはるたき)桜」である。いずれも見たことがないので、いすれは、桜の時期に行ってみたいものだ。根尾のマンホールには当然、薄墨桜が描かれ

ていて、ランチをするべく、道の駅なのに、道から外れた高台にある「うすみ桜の里」へ登るも、食堂は廃業、弁当類も全くない…この先、コ



ついでに食事もなきうなのに、普段は買わない鬼まんじゅうを買う。本隊は、桜と根尾谷断層を見てから、ここで軽食を摂るつもりなので、L-LINEで、根尾の町にあるスーパーで買い出しするよう云々て、二つ目の峠、標高550mの馬坂峠へ向かう。ここから300mほどアップだが、峠道に入ると、思っていた以上に勾配がつく。思い切りペダルを踏んだ際、右ひざに、これまで経験したことのない痛みが走

る…初日から酷使していた膝がついに悲鳴をあげたのだが、その後は特に痛みがないので、13時、何とか峠のトンネルまで登り切り、真っ暗な怖そなトンネルを抜けた辺りで、さつまごもだけできた鬼饅頭だけのランチタイム。サイクルメーターを見ると、5のキロも走



つっていく。既に脚は限界に近く、まだ30キロ以上もあると思うと、気が重い…。揖斐川の最上流にある徳山湖まで下り、湖岸沿いの道は、長めのトンネルばかり





りだが、平坦なので、何とか走れるし、福井県に抜け

る冠山峠にあるトンネルまでの登つて居られる。

そして、15時、やっとトンネルに着き、5キロもある長い冠山トンネルを抜け



ると、宿のある池田町までは下りなので、素直に嬉しい。できたばかりのトンネルなので、完成プレートを見ると、コンクリート配合に高炉セメントが使用されていることがわかり、高炉関係者として、チチ嬉しくなる。下っていると、観光かずら橋の看板があり、道路から木製の橋が見えるし、通行料金300円と書いてある。渡るだけ…と思ったが、男女のグループが楽しそうに渡っているので、まあいいか、と思つ。

16時、本隊に抜かれることなく、池田の「べにや旅館」に着くや、その15分後ぐらうに本隊が着き、危ないといふであつた…。今日もメチャ疲れたが、お風呂に入り、豪華な夕食を完食して、20時には寝る。

【走行距離の1km 獲得標高1040m】

【走行時間5:48 平均速度15.6km/h】



今日は、ここから40キロ先にある勝山の実家まで行き、ひとり暮らしの母と金沢から帰省中の妹に会ったあと、越前大野の宿まで戻る約50キロの旅。本隊は、朝倉遺跡がある一乗谷と永平寺を見学してから、九頭竜川沿いに遡上して勝山を通つて来るらしい。そして今日、初日から参加してくれた○澤氏が抜け、代わりに、丁葉氏と△夫妻が合流し、福井在住のテントこと△木氏も大野にやつて来る。朝食のメインは、若狭ガレイの一夜干し





味」とのこと。の跨半に

出発ジャンプを決めて、

本隊を見送り、ひとり、

岐阜に繋がる国道15

8、

通称「美濃街道」を

150mアップして越前

大野の町に入ると、緑の



麦畑とピンクの芝桜が美しい。九頭竜川沿いの道を通り、昔は京福電鉄だった「えちぜん鉄道」の勝山駅まで来ると、大阪特殊合金の工場と綺麗な事務所が見えぬ。勝山には幼稚園から高校卒業まで住んでいて、当時は汚い電炉工場であったが、今や、その面影は全くない。輸入銑を扱う同社は、銑鉄苗業時代、競合相手だつたが、いろんな意味でお世話になり、この工場でも実験をさせてもらつたことがある。そして勝山は、今や、何と云つても、恐竜の町となり、勝山大橋を渡る



と、2000年に新種の恐竜として認められた全長4mほどの「フクイラプトル」がいる。40年ほど前、北谷（あただに）と云う白山に近い山奥の集落で、恐竜の化石が発掘され、2000年に、卵型の恐竜博物館が勝山にできてから、一気に注目されるようになり、更に、北陸新幹線の延伸にもない、博物館も「ユーフォーランド」ともおすすめ観光地として賑やかになら思つ



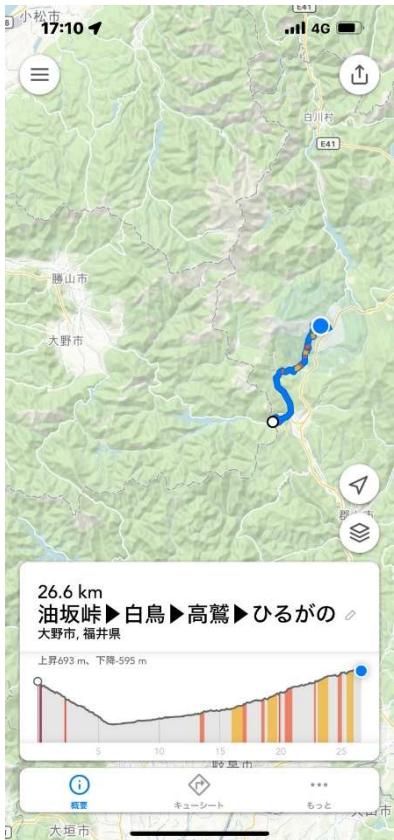
と、チラ喜しい。そして、西日本最大の東急リゾート系スキー・ジャム勝山もここにある。そのおかげだらうか、昔は絶対なかつた洒落だいたりアンレストラン「厨ぼうず」が実家の近くにあり、そこで、親子3人でランチタイムを過ごす。母の日が近いので、筆者が全部支払い、チチ親孝行をしてから、10キロほど戻り、15時半、大野城が望め

るお宿「弥生旅館」に入る。宿泊料金は5700円もあるが、なんと一万四千四百円…高過ぎるが、他の宿も満室なので、やむを得ない。今回、部屋で夕食前にみんなが集まつて呑むことは全くなかつたが、今日は大酒呑みのテンタがいるので、頼んだ瓶ビールがどんどん置いていく。旅の宿は、やつぱりいつもなくては、と思つ。北大サークルOGである妹の潤子も勝山から車で來たので、今



麦畑とピンクの芝桜が美しい。九頭竜川沿いの道を通り、昔は京福電鉄だった「えちぜん鉄道」の勝山駅まで来ると、大阪特殊合金の工場と綺麗な事務所が見えぬ。勝山には幼稚園から高校卒業まで住んでいて、当時は汚い電炉工場であったが、今や、その面影は全くない。輸入銑を扱う同社は、銑鉄苗業時代、競合相手だつたが、いろんな意味でお世話になり、この工場でも実験をさせてもらつたことがある。そして勝山は、今や、何と云つても、恐竜の町となり、勝山大橋を渡る





越前大野→車→油坂峠→美濃白鳥→高鶲(たかす)→ひるがの高原

【走行距離 26.6km】
【走行時間 2:17】 平均速度 17.6km/h
【本日の予計】¥20,500 (宿料¥14,400 ランチ代 4,500 他)

4-8の完敗…。



回最多の11名が集まり、夕食、そして2次会も大きいに盛り上がる。阪神は、初先発の門別が3回6失点の乱調でチャンスにまた梅野が凡退を繰り返し、巨人に



末、潤子の車で油坂峠まで送つてもひづ作戦を立て、昨日のうひひ、潤子に会える。柴好きの本隊に立っても長い一日になるので、宿の女将に早めの時半に朝食をお願いし、7時半には出発ジャンプを決めて、本隊は走つて、筆者は潤子号で油坂へ向かう。50分ほどで、旧道のトンネルに着き、バッグをセシットして、の時前にトンネルを越えて白鳥へ。あとで知ぬが、本隊は12時半に着いたので、3時間半の貯金がでである。白鳥のスーパーで買い出しを済まし、国道150、通称「白川街道」を走つていねじ、ポイ捨てを注意する



面白いプレートが! 自転車に乗つてみると、道路脇に捨てられたペットボトルや缶や「!!」が目に付かやすぐ、いつも「おこうじい捨てんなよ!!」と叫ぶたくなるので、 Hutch



今日は、九頭竜川沿いに

油坂峠まで600mアップ
探し、一日、美濃白鳥まで下ったあと、今度は長良川沿いに500mアップ

探し、ひるがの高原まで約80キロの旅。自分にとっては、超ハードなコースであり、一日前に痛



りである。三日前に「お世話」

なった「長良川鉄道」の終点「北

濃駅」に寄ると、食堂が併設し

てあり、味噌カツ丼が目を引く

だが、まだ開いていない。駅

舎に入ると、「手回り品」のこ

とが書いてあり、「手荷物は2

個まで、総重量は30キロ以

下、自転車は10キロ以内」

とある。筆者の手荷物は、サ

イドバッグ2個がない状況でも、自転車が入った輪行袋含め4個、総重量は40キロ以上、自転車は15キロほどなので、全てアウトである。でも、三日前に利用した時は、なんにも云われなかつたので、たまたま運転士がいい人だったのか、無人駅で下りたからか、それとも、建前だけで、厳しく見ないのかも知れない。紅葉と滝と鮎が描かれ

た長良川らしいマン

ホールを見ながら、

実感30℃を超える

暑さの中、徐々にき

つくなる坂を登つていふと、「ダイナラン

ドスキー場」の入口



○ 持ち込むもの

無料

列車の状況により運輸上支障支障が生じるおそれがないと認められる場合に限り、
携帯できる荷物で、最小の立方形の長さ、幅及び高さの合計が250cm以内の
もので、個数は2個。ただし、その総重量が30kgをこえないもの。

※ 身の回り品として携行する傘、つえ、ハンドバックなどは、個数制限にかかる車内に持ち込むことができます。
● 自転車は、解体もしくは折り畳んで専用の袋に収納できるもので、その重量が
10kg以内のもの1個。ただし、弊社の指定するサイクリング列車及びその他



に着く。キャンプ場がスキー場にあるらしいが、3キロで240mアップなので自転車では無理!。12時半、油坂から3時間半で、宿のあの「ひぬがの高原」に着き、長良川と日本の海の富山湾に注ぐ庄川との分水嶺公園へ寄

るが、いかにもわかりやすい小川が二つに分かれているので、つい撮ってしまったが、ホンマに自然にできたものなのか、疑わしい限りだ。ソフトクリームが名物の「たかすファーマーズ」と云うお店の外のベンチで、缶ビールを飲みながら、ミニカツ焼きそば弁当を頂

く。15時にお宿「レストホテルほづみ」に入り、部屋でのんびりしていると、長瀧白山神社や夫婦滝など寄り道をしながら走ってきた

た本隊が、筆者から4時間あとの16時半に到着。阪神は、梅野を外し、西・坂本バッテリーで臨むも、1-2で巨人に10回サヨナラ負けを喫す…。坂本はナイスクードだったが、糸原のエラーで流れが悪くなり、逆転を許す。夕食は、飛騨地方の名物料理「けいちゃ





ひるがの高原→御母衣ダム→白川郷→五箇山

【走行距離26.5km 獲得標高622m】
【走行時間2:24 平均速度12.0Km/h】
【本日の旅費】¥1,443(宿代¥6,400(税込))

●2024年5月5日(日)の田中 晴れ 南5m

に聞くと、開封済みだが、ロキンニン湿布が2枚残っている袋をくれて、プララッキー。
【走行距離26.5km 獲得標高622m】
【走行時間2:24 平均速度12.0Km/h】
【本日の旅費】¥1,443(宿代¥6,400(税込))



「ん焼き」が大きな鉄板で出てきて、みんなで突く。食事前の話だが、お風呂から上がりたあと、痛めた右ひざが熱を持つており、炎症を起こしているようだ、いつもはバッグに入れてこる湿布がないので、ダメ元で宿のおねーさん



ひと下りなので、何とか走れただ。宿に、ジャージー牛のポスターがあり、「タイパってなんですか」と書いてある。最近まで知らなかったが、タイパとはタイムパフォーマンスの略語であり、残業を好まない若者が使う言葉らしいが、タイプなど気にせば、のんびりしよう、と牛が云つて云つて…。快晴の中、8時に命宿所みたいなお宿を出発し、少し下ると、御母衣ダム湖の入口辺りに、黒っぽい「ジニア紀の化石」が



厳重なケースに入つており、御母衣ダムによつて、貴重な化石群が水底に没してしまつた、とある。ダム湖の斜面を見ると、確かに所々に黒光りの岩盤が見えれる。そして、桜が描かれた莊川(しおつかわ)村のマンホールがあり、ダ





手入れに弱い樹齢約500年の桜を、人知を頼りして湖底に沈む場所から湖の上へ植え替えたのである。そんな弊害を無視して、1961年に完成した御母衣ダムは、100個もある庄川水系ダムの最上流に位置する日本三大ダムのひとつで、コンクリートではなく石を積み上げてできた珍しいロックフィル式である。因み



に、あの二つは、黒部ダムと奥只見ダムで、特に、福島県と新潟県の県境にある奥只見ダム湖の湖岸沿いは、9年前に走ったことがあるも、アップダウンの激しいことで有名な酷道で、死に物狂いで大変だった記憶がある。それに比べ



△村氏のコメントによると、桜は「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」と言われるほど、枝を切るとすぐにから腐りやすくなるのだが、そんな



落は、観光客が一杯で、人が歩むだけなので、三連合掌のマンホールだけ撮って抜けると、駐車場へ向けて車がすっと繋がっていて、チビチビ。結局、白川郷インターでエンジを下りた車が2キロ以上数珠つなぎになつていて、自転車の優越感に浸りながら走る。五箇山が近づくと、クマが食べられる珍しいお店「高千代」があり、丁度、お店を出でたおじさんだったので、聞くと、「クマは食べていない」とのこと。「クマのお店に入つてクマを注文しないとは信じられない」と思った



で、丁度いい写真が撮れる。メインの荻町集落に入ると、「三連合掌」と云う撮影ポイントがあり、自動車は通行止めだが、自転車は通れるので、丁度いい写真が撮れる。マンホール



が、クマ鍋の230

O円はチト高づか

…。五箇山は富山県

だが、ここへ来る所

で、県境を行つたり

來たりするトンネル

と橋ばかりの道があ

り、それは局にいい

のだが、風が強く、

トンネルを抜けて橋

に入つたところで、強風に煽（あお）ひれいで、転倒しつぶれとな。

後続の本隊に、その事を「一二三」と伝へ、五箇山の合掌造りのお宿

「民宿なかや」へ。12時半に着き、暑いので、駐車場の口懸り座つ、

ひるわんのスーパーで買っておいた助六寿司とソース焼きそばの二つ

チタイム。今田も暑かったので、ビールがメチャ皿だ。14時半に部屋

へ入れて、お風呂に入り、阪神の試合を観ながら、まだビール

を飲む。阪神は、オ木の好投、近本の二打

など、巨人に4-2で回りか勝利したが、終

盤の2回目、梅野が送りバントを決められ

ず、木浪の打球が併殺打になつてしまふ、危

なことじつであった。宿に砺波チューリップ

パーのポスターがあり、ひどく畠山地獄の

の、フジアサウンドの田舎田舎だ、畠山

かいは撤去作業の

ため公園は閉鎖さ

れるらしい。明

日、行けりと思つ

ていたのに…。チ

ショック。GW最

終日は入場者が減

るかしいだらうが、

GW最終日も観光



たひじこ詰である。本隊は、白川郷や五箇山の合掌造りの家屋巡りを間を要し、遅めの17時半に着き、100時半から始まつた夕食は、囲炉裏を囲むものにして並べられたテーブル席に座つ、1時間以上、囲炉裏に置かれた炭火の輻射熱でじっくり焼かれ

た鮭魚や、鯉の刺身、三葉のいじみなど、美味しく頂く。

【走行距離のメモ 獲得標値のメモ】

【走行距離のメモ】24 時速 20.4km/h

【本日の会計】¥13,980 (税込¥13,000)

【想記】ミ村氏のレポからの抜粋】

白川郷ひ五箇山につけ、どうも家の感じが變つた。なぜか調べた。合掌造りの基本なつくりに觸り、せせ細りも良き理由だ



北＆南回りがだいたいに一方だけ雪が残り、家の重量バランスが崩れるからとのこと。南＆北は窓が多い壁面で「つま」と呼ばれる。違いだが、基本、白川は屋根に茅（かや）を横向きに配置する。結果、両「つま」に茅の切れ口が出て屋根端がシャープに見えるとのこと。五箇山は屋根に茅の切口を下向けて配置する。結果、両「つま」が茅の茎になり、屋根端が丸まって見えるとのこと。もう一つ、出入口について、基本、白川は屋根側にあり「平入り」という。五箇山は「つま」側にあり「つま入り」という。宿泊した伊勢民宿「なつかや」さんも「つま入り」だった。

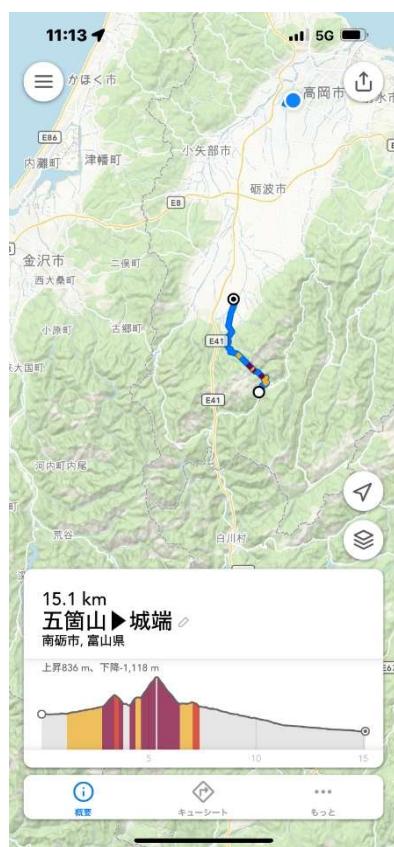
2024年春のチャリキャンプラントツル(ルート)

野田俊

● 2024年5月6日(月) 10時 霧の南アルプス
五箇山→城端(じよつはな)駅→JR→野々市駅→車→潤子宅

安打2ホームラン
3打点の大活躍!
打率も.364に跳ね上がり、プチスッキリ。バナナ、ヨーグルト、ふりかけ、目玉焼きなどに加えて、マイ

生卵の朝食を頂き、8時、築350年なのに、水回りがリーニームされ、綺麗なお宿を出発する。いきなり200mアップの山を越えなければならない。本隊に遅れないかぎり、何とか長いトンネルも越えて、一緒に城端(じよつはな)駅まで下り、みんなお別れする。JRローカルの城端線で高岡まで、



今日は、高岡まで自走して、妹の潤子宅がある野々市市までJR輪行

すみつめうだつた

が、10時頃から雨予報なので、最寄りの駅から輪行することにする。BS放送が入るので、5時に起きて、ドジャースの生中継を観ていると、なんと4打数4



そこから、北陸新幹線開通とともにない、JRじゃなくなつた「あいの風とやま鉄道」と「一矢いしかわ鉄道」を乗り継ぎ、金沢駅で下りて、構内にあった

「不室屋」と云う加



賀麿で有名なお店に入り、の種類の麿料理とすだれ麿の治部(じぶ)煮などが入った「加賀麿とりどり膳」を注文。2400円はチト高いが、加賀料理を満喫できるのだ。お薦めである。そして、食べ終わって、お皿を呪いなど、色彩豊かな加賀の伝統工芸である九谷焼で、ブチびっくつ。そして、15時、金沢から近い野々市駅まで更に輪行して、迎えに来てくれた潤子宅に泊めてやる。

【走行距離16km 獲得標高313m】

【走行時間○：103 平均速度17.8km/h】

【本日の旅費】¥9,640（交通費¥1,690、夕食代¥4,500 朝食）

●2024年5月7日(火) 11日目 湖

野々市駅→JR→金沢駅→JR→新神戸駅→バス→神戸北町



渥美半島の伊勢を走る本州のひとつが2週後の週末であるが、集合地である三河の田原までは一週間やあれば着いてしまうのだ。一回、神戸へ戻り、時間調整するといふのである。なので、今日は、自転車やバッグを妹宅に置いて、敦賀までは延伸された北陸新幹線を利用してしながら、神戸の田舎まで帰る電車旅。十日間の自転車旅を終えたが、今朝から本降りの



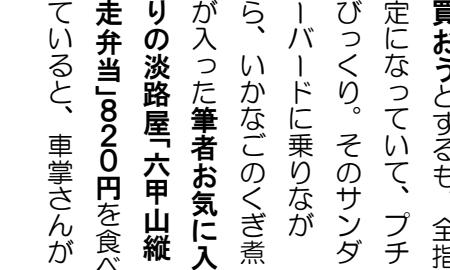
雨で、またしても晴れ男がつを発揮し、会社へ行く際の車で野々市駅まで送つてもらい、一回、金沢駅まで戻つてから、各駅停車の「つばめ」で敦賀へ。45分で敦賀駅に着き、特急サンダーバードに乗つて換え、新大阪駅で、また新幹線に乗り換えて、新神戸駅経由田宅へ帰るも、結局、ニアツーデアでの時間もかかる…。敦賀延伸で、東京からは便利になつたのだかが、金沢→敦賀間のサンダーバードが消滅したので、関西→北陸間のアクセスは不便になり、しかも料金も高くなつてしまつたのだ。関西人から見れば、ドメコシトしかない…。

【本日の旅費】¥18,147（交通費¥12,180、みやげ代¥5,967 朝食）

●2024年5月16日(木) 12日目 雨

神戸北町→バス→新神戸駅→JR→野々市駅→バス→潤子宅

一時帰宅中、献血、「フルハーフ」、草むしり、懇親会など、社会貢献と家庭貢献を果たし、本日、九日前の逆ルートで、野々市へ戻るといふのである。11時に自転車を用意し、新神戸駅で、サンダーバードの自由席を買おうとするが、金指定になつていて、ブチびっくつ。そのサンダーバードに乗らなくなつて、いかないのでも無が入つた筆者お気に入りの淡路屋「六甲山縦走弁当」@200円を食べてこねじ、車掌さんが



検札に来ただの、聞くと、「新幹線の延伸にひともなこ、全席指定」になり、つい西日本では、「べんつお」や「やべも」も同様で、自由席をなすのが世の流れ、代わりに指定席をネット購入すれば安く買える」とのこと。ところが、新幹線が全指定になるのも、時間の問題なのがもしかれない…。敦賀でつねね町に、小松で一尺に乗り換え、野々市駅からは、地元のコメコーヒーバスを利用し、16時半、やつと潤宅に着き、までは、すり減っていた前輪のタイヤを、アマゾンで送つておいた新しいタイヤに替えるが、後日、その交換が原因で、トラブルになるとは…。阪神は、タイムリーホーをしたテルが一軍に落ち、打撃不振の大山と木浪が先発を外れる中、原口の3ランなどと、中日をの一戦で破り、チョー気持ちいい。

【本日の会計】¥13,820（交通費¥10,870 合計）

●2024年5月17日（金） 13日目 晴れ 西の日
野々市駅→JR→石動（いするぎ）駅→砺波→八尾→猿倉山



今日は、電車で、県境の側利加羅（くわら）峠を越えて富山県の西端にある小矢部市の石動（いするぎ）駅からスタートして、東へ向かい、イタイイタイ病の神通川流域にあるサンプ場まで約50キロの旅。6時に起きて、7時に野々市駅まで送つてもいい、電車で石動駅まで移動し、晴天の中、の時半、なぜか駅舎に図書館がある近代的な駅を出発する。小矢部市のカラーマンホールには、角が燃える牛が描かれており、調べると、木曾義仲と平家軍が戦った「側利加羅峠の戦い」で、義仲公が牛の角に松明を付けて平家軍を断崖絶壁に追いつめ撃退したといとかひ、その牛のいしづを





代わりに、パンジー
一だらうか、黄色
や赤や紫のお花が
近くに咲いてい
る。一年中、チュ
ーリップが咲いて
いるといふ「チュ
ーリップ四季彩
館」へ行くも、入
るだけでも10円
取られるので、売店にあつた、「キロンとする花束のような香り」「記
念日」と書いてあるフレグラノスミスト、要は香水らしいか、
嫁さんへの結婚記念日プレゼントで買ひ。公園の外にも、チューリ
ップ畑がたくさんあるが、葉っぱばかりで、
花びらは枯れて落ちてしまつたのだろうか、ブ
チ残念…。超フォローの風を受けながら、山並
みをひとしおえて、富山平野に出ると、まだ雪
が残つてゐる立山連峰が見えてきて、雄大さを
感じる。このあと、進路を南に変えて、キャン
プ場のある「猿倉山森林公園」に着き、入り口
にあつた案内図を見るが、キャンプ場は山の途
中に、管理棟は更にその上…。地図アプロードで確
認あると、キャンプ場まで70mアップ、管理



代わりに、パンジ
一だらうか、黄色
や赤や紫のお花が
近くに咲いてい
る。一年中、チュ
ーリップが咲いて
いるといふ「チュ
ーリップ四季彩
館」へ行くも、入
るだけでも10円



がり、ランチタイム。そして、自転車からバッグを外して、管理棟ま
で登り、受付を済ます。山を下りると、近くに日帰り温泉があるもの
の、あの激坂を登れば、また大汗を搔くので、明朝、出発後に入るこ
とにすむ。トイレの手洗い場の床に水が溜まっており、そこに大ムカ
デが、ずつといふので、可憐というより、木
の棒に乗せて、外へ
逃がしてあげる。一
日一善。シャケ入り
クリームシチューを作
り、テントに入る
も、プチ暑い。その
せいなのか、寝てい
る時、脚がまた痙攣する



棟まで更に150m
もある。少し進む
と、勾配が10%
以上もある激坂に
なり、漕げないので、重たい自転車
を押しながら、1
4時、何とか、キ
ャンプ場に着き、
腹ペコなので、まずは、缶ビールを飲みな
がら、ランチタイム。そして、自転車からバッグを外して、管理棟ま
で登り、受付を済ます。山を下りると、近くに日帰り温泉があるもの
の、あの激坂を登れば、また大汗を搔くので、明朝、出発後に入るこ
とにすむ。トイレの手洗い場の床に水が溜まっており、そこに大ムカ
デが、ずつといふので、可憐というより、木
の棒に乗せて、外へ
逃がしてあげる。一
日一善。シャケ入り
クリームシチューを作
り、テントに入る
も、プチ暑い。その
せいなのか、寝てい
る時、脚がまた痙攣する



…。阪神は、青柳がヤクルトの村上に3回も打たれて、2-4で負ける…青柳は相変わらずノットホールが悪く、今年も駄目かもしれない…。

【走行距離46km 獲得標高の△の△】

【走行時間3:10 平均速度14.6km/h】

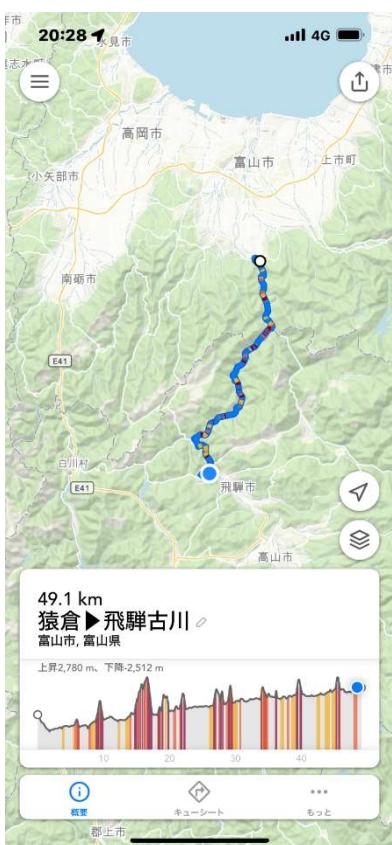
【本日の旅費】¥6,122(交通費¥720含む)

【猿倉山森林公園キャンプ場評価: 3段階】

折生のワカシムナサイト面、200円の利用料金は魅力ありがたが、自転車ひとつで、とにかくマクセスが懸かる。管理棟が更に上にあるのも問題なので、いじりにまつ来なこだわり。

●2024年5月18日(土) 14日晴れ 北北東

猿倉山→神通峡→河合→飛驒古川



今日は、神通川沿いに南下し、飛驒古川にあるキャンプ場まで約50キロの旅。

高低図を見ると、当たり前だが、ずっと上りで、最後には、キャンプ場まで、また50mほどのアップがあるので、今日

も脚が轟りやうだ。出発前、壁になつたワンカップを洗い、フロントバッグに入れる際、ノックの上に落としあげ、見事に割れた

…。これまで一度もマイワンカップを割つたことがなかつたので、嫌な予感がある。の時にキャンプ場を出て、神通峡沿いに温泉「湯の田(ゆのた)」に着くや、10時からなので、飛驒古川の手前にある日帰り温泉へ行くことになる。名古屋まで232キロの標識があり、0回りの集合まで実質6日なので、日平均40キロで着ければ計算になる。明後日から雨予報が出ているが、その時は、鉄道でワープすればいい。旧細入村の「道の駅細入」に寄ると、富山名物の「醤油胡椒風味」とあるが、風味はジンジャーワークサイダーが置いてあり、Glicoに飲んだM村氏の感想では「醤油胡椒風味」とあるが、風味はジンジャ





「ノーベル出世街道」と云われているようだ。少し濁ってはいるが、緑色の神通川を見ながら走っていると、タイヤが何かと擦つているような音がするので、チエックすると、なんとか前輪のブレーキ



人のにはイワナの方が好きなのだが…。知らなかつたが、富山県と岐阜県を結ぶ国道41号は「ブリ街道」と呼ばれ、富山湾で捕れたブリが信州へ渡つたらしい。最近は、この沿線に由来がある、田中さん、小柴さん、利根川さんなど5人のノーベル賞受賞者が出てこるので



一つぼく、後で胡椒の辛みは効いてきたが、醤油感はなし」とのこと。270円の価値はなさうなので、スルして、外へ出ると、子持ち鮎やイワナが串に刺さっていて、いずれも600円なのに、25本中24本が鮎で、イワナは人気がないらしい。個人的にはイワナの方が好きなのだが…。知らなかつたが、富山県と岐阜県を結ぶ国道41号は「ブリ街道」と呼ばれ、富山湾で捕れたブリが信州へ渡つたらしい。最近は、この沿線に由来がある、田中さん、小柴さん、利根川さんなど5人のノーベル賞受賞者が出てこるので



がタイヤと接触して、削られたタイヤのゴムが粉のようになつているではないか！潤子宅でタイヤを交換して前輪をフローオークにセットする際、ずれたまま固定したのが原因だ。このまま走っていたら、そのまま走っていたら、タイヤがバーストして走行不能になつていていたので、危ないといひであった…。知らなかつたが、岐阜県に入ると、神通川が宮川と云つ高山を流れる川として知られた名に変わり、国道じゃなく川を挟んで反対側の生活道路を進んでいたら、いきなりの通行止めで、「ブチショ



ック…。往復2キロのロスとなる。そして、更にその40分後、前輪がなんとパンク！チューブを外して穴を調べると、ピンホールと共に線状の傷があり、タイヤ側にはなんと「取扱説明書」が！潤子宅で新しいタイヤをセットする際、取説に気付かず、そのままチューブを入れたため、走行中、紙とチューブが擦れて徐々にチューブに傷が入つていったのだ。トラブル続きで遅れたが、14時半、河合と云つ町にあ

る、ロッジ風の日帰

り温泉「やうわくは
うす」に着き、電話

で「15時まで食堂
開いています」と確
認しておいたので、

食堂へ行くと、開い
てはいるが、「14

時ラストオーダーで

よよ」と呟かれる…。「今日ば、じいじひつこていらない」と思ったが、

汗だりだりの疲れた顔で、食堂のおねえさんに経緯を説明してお願い
かると、「特例ですよ」と呟つづれたので、おべんとうな焼きそばを完食

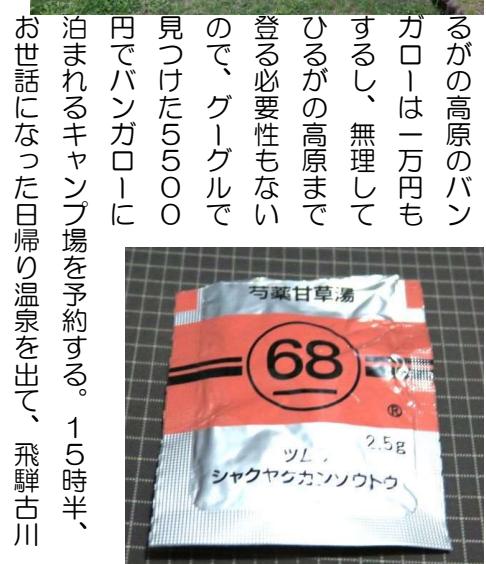
を注文する。優しい人で良かつた、と感謝しながら、焼きそばを完食
して、お風呂に入つて、二日分の汗と垢を流す。中日の根尾選手が載

つていうスポーツ紙がいくつも貼つてあり、
彼は岐阜県の出身なので、この辺りに実家があ
るのかもしれない。高校の時は凄い選手

で、鳴り物入りで中日に入ったのに、バッタ
ーでつまづきかず、投手に転向しても、一軍

に定着できず、苦しみでいる…。明日は、6
0キロ、800ニアップのひるがの高原のキ

ャンプ場まで行く予定だが、天気予報では、
明日の午後から本降りの雨にならうで、ひ



るがの高原のバン
ガローは一万円も
するし、無理して
ひるがの高原まで
登る必要性もない

ので、グーグルで
見つけた5500
円でバンガローに

泊まれるキャンプ場を予約する。15時半、
お世話になった日帰り温泉を出て、飛騨古川

の町で買出し後、昨日までは坂を登つて、17時前、飛騨森
林公園キャンプ場に着く。受付後、ちょっと離れたフリーサイトへ移
動するも、炊事場やトイレは一段高いオートサイトにあって、フリー
側は何もないで、側溝にタイヤを入れ、自立させてから、設営や夕

食の準備をする。小さめのブヨが飛んでいるので、蚊よけスプレーを
探すもなく、どうも家に置いてきたようだ。その結果、気付かぬいう
ちに、あちこち刺されていて、翌日から一週間ほど痒みが取れず…。
その上、テント内で夕食中、突然、太ももの内側が轟り、いろんな姿
勢をしても治らず、冷や汗が出るほど、痛い…。しかし、GWに一葉

さんから頂いた「ツムラ漢方薬68番」を飲んだり、徐々に収めり、
やっと落ち着く。「脚が轟つたツムラの68番」である。昨日の60
0mに続き、今日も800ニアップでは、脚が轟るのは無理もない
が、狭いテントで轟ると大変だ…。阪神は、ヒーズリーの好投でヤク



ルトにて——〇ド井勝すぬぢ、相変わらぬむなさ…。

【走行距離の1~2km 獲得標高800mのE】

【走行時間4:21 平均速度13.9km/h】

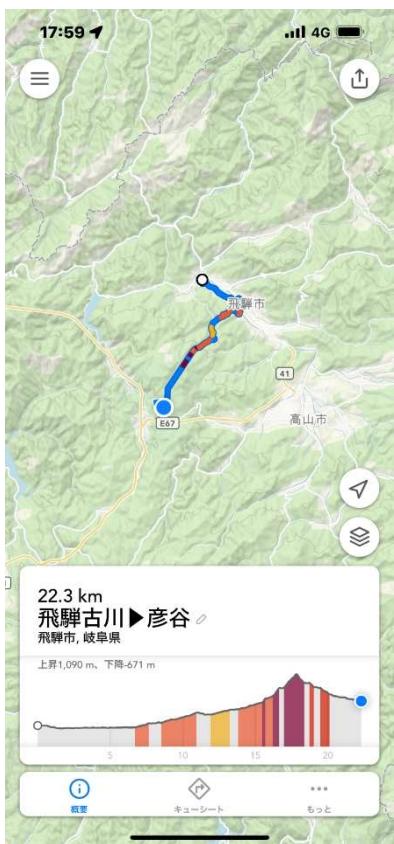
【本日の合計】¥4,611

【飛騨森林公園キャンプ場評価：30点】

ベンチも東屋も何もないショボいFC-Siteなのに、利用料はなんと2350円。炊事棟やトイレに近くオートサイトは4000円もある。翌朝、管理人に「この内容での料金は高いです」と尋ねると、「口ナ前は200円だったが、口ナ禪のキャンプブームでたしかなり、町が値上げした」とのじる。「余計なし」と思つたが、おねえさんと文句を云つても仕方ないので、御礼を云つて、冷やしあわいの保冷剤を受け取る。高いからなのか、土曜日なのか、オートサイトの一張りあひだけで、ツーリングサイトは筆者のみ。

●2024年5月1の日(日) 15日目 雲々の雨 無風

飛騨古川→猪臥山トンネル→彦谷

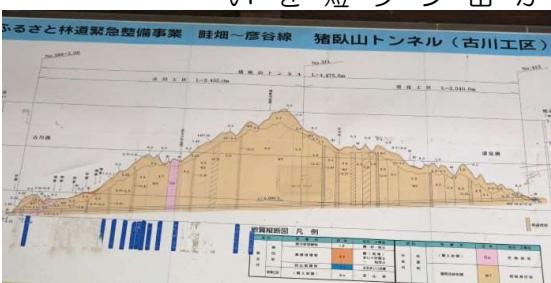


今田が、高山へは行かず、トンネルのある山をひとつ越えて、バンガローのあるキャンプ場まで約25キロの短め旅。の時、自転車を立て掛けの場所がないので、滅多にない自転車を持ったままの出発写真を撮つて、

飛騨古川の町へ下りる。スーパーで、アサリ、

なぬ、豆腐、納豆、麻婆豆腐の素などに加え、米10合分、非常食用にサバ缶とサッポロ塩ラーメンを買づ、ドッグストアで、忘れた蚊よけスプレー。しかし、そのあと、ツ

ントバッグの中に、ないと思つていたスプレーを発見しフチショック…。猪臥山トンネルの手前にあった閉鎖中の道の駅に、そのトンネルの設計図があり、よく見ると、延長447.5mもあり、しかも内側からずつと上りで150mアップしてくる…。平均勾配は3%強だが、実際、トンネル内を走つてみると、わざとある感覚で、結局、抜けるのに40分もかかる。まあでも、このトンネルのお



かげで、近道で行き
たのだから、文句
は言えない。少し

下り、13時半、
今日の宿「彦谷の
里キャンプ場」に

着くと、林業の人
たちだらうか、風
間から缶ビールを

頂く。その阪神は、近本、原口、木浪、ノイジーが打たれ、オホも好投
して、ヤクルト「アーチの快勝。やつと打線が火を吹くも、続くのだ
らうか…。

【走行距離250km 獲得標高640m】

【走行時間2：43 平均速度91km/h】

【本日の収益】¥10,255

【彦谷の里キャンプ場評価：37点】

キャンプシャワーあり、無料洗濯機あり、冷蔵庫あつばいヤンハッカは整
っていぬが、フリーサイトの2200円は嵩高い。1500円のバ
ンガローはワーズナブルなのに…。



かと思つたが、受付を済ませて、案内してくれたバンガローへ。入口
の前に、ここ裏山にベンチヒートブルがあり、ヤシード、こなり寿司、
蕗（ふな）煮、ポテサラ、そして飛驒名物「「もといつぶ煮」」のベンチ。
宿泊情報通り、15時頃から降り始め、18時頃には本降りの雨とな
る。その前に、100円のシャワーと二
槽式だけど無料の洗
濯を済ませて、夕食
は、アサリ入りクリ
ーミシチュー、クラ
ムチャウダーとも云
うが、阪神の試合を
観ながら、美味しく



2024年春のチャリキャンプラントツル(その4)

野田俊

●2024年5月20日(木) 16時 霧り晴れ 西23
高山市彦谷→莊川→ひるがの高原



川の里から、ひるがの高原まで登る
約40キロの旅。
夜中ずっと降っていた雨は、うまい
具合に朝方には止
み、いつもの朝食
に加えてキウイも
頂き、10時に出



今朝は、高山の西に位置する彦谷の里から、山を一つ越えたあと、莊



と、川に、苔のよう
な植物が、いくつも
の石の上に生えてい
る。あんまり見ない
光景なので、一枚パ
チリ。そして、標高
1086mの松ノ木
峠をアタックしてい
ると、地面に留まっている黒アゲハ蝶を発見！

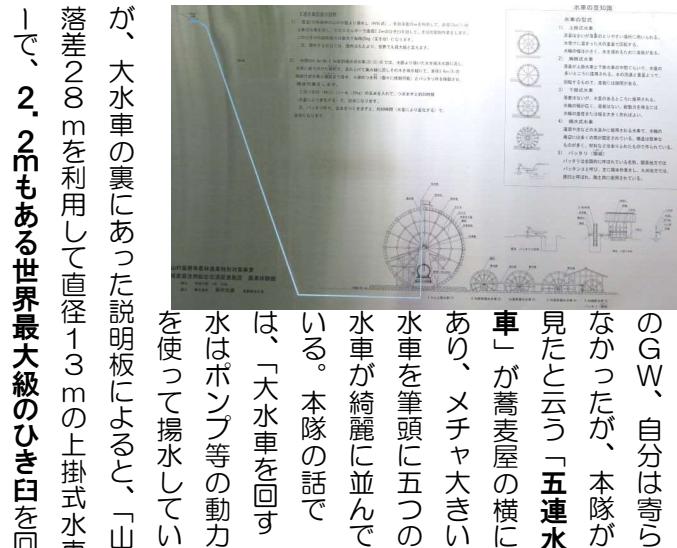
車に接触したのだろうか、動きが鈍いので、車に轢かれないので、指で掴んで道路脇に移してあげる。一日一善。意外ときつかった峠を二つ越えて、12時、道の駅莊川に寄り、紫式部役の吉高由里子さんが写っている「光る君へ」のポスターが丁度、昨日の放送で、越前国守を任命された父の付き添いで越前へ旅立つシーンがあり、ポスターにも書いてある。しかし、「紫式部が

福井で暮ら
したことがあ
る」とは
昨日まで知
らなかった
…。この前





のGW、自分は物らなかつたが、本隊が見だと云う「五連水車」が蕎麦屋の横にあり、メチャ大きい水車を筆頭に五つの水車が綺麗に並んでいる。本隊の話では、「大水車を回す水はポンプ等の動力を使って揚水しているのでは」と疑っていた



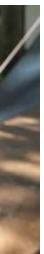
ていろ」とあり、眞相がわかつてづち満足。岐阜まで繋がる国道156号線に入つたところで、雨が降り出し、丁度、雨宿りできる休憩所があつたので、そこで自転車を入れる。こ



の先、ひるがの高原まで山道で、何もないのでも、ブチラッキー。強くて小さい雲は15分ほどで通り過ぎたので、17日前に下った道を逆に上り、高原まで来ると、モンゴル遊牧民の住居であるゲルが立ち並び「ミサハゲルキャンプ場」が見えてくる。調べるとい、一人用のゲルでも1-2000円、グランピング並みのお高さだ!。14時、「ひるがの高原キャンプ場」に着き、受付を済ましてテントへ移動するが、屋根付き炊事場の近くは林間学校用の常設テントで埋まっている。何もない場所に設営を余儀なくされる…。その上、保冷剤の冷凍も拒否されてしまい困つたが、粘り強くお願いして、何とか業務用冷凍庫で冷やしてもういたくなる。近くにあるホテルのお風呂に入ると、疲れがやっととれた感じがして、脚のむづむづと収まりそうだ。

【走行距離40km
獲得標高の27m】

【走行時間2:50 平均速度14.2km/h】



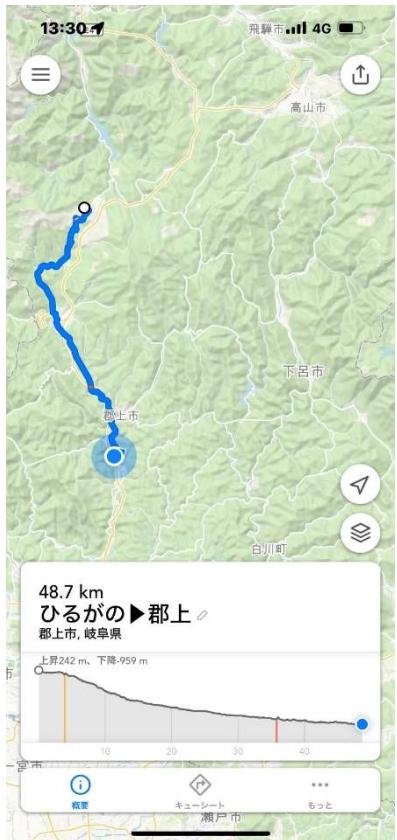
【本田の旅記】¥3,529

【ひるがの高原キャンプ場評価：4-5点】

高原まで来ればアクセスは平坦で、1200m田の利用料はリーズナブルだが、サイト面は土で、しかも石が多く、ペグの先端が曲がってしまう…。更に、キャンセル代が三田前から2000円で、利用料より高いなんて、あり得ない…。インフラ的には、ウオッシュルあり、ランドリーあり、電波、充電OKなど揃っているのだが…。

●2024年5月21日（火）17日目 晴れ 北西3m

ひるがの→飛騨白鳥→郡上八幡→郡上



ひるがの高原は日本海と太平洋の分水嶺なので、ここから愛知県まで長良川沿いで南下すれば、基本、下りである。なのに、今日は、高低図の通りに、標高の100mから回り200mまで50キロあつと下り



は水路のように整備され、地図アプローチによると、上の先に川は存在せず、よく見ると、日本海へ注ぐ伊川と太平洋へ注ぐ長良川の源流は繋がっており、別々に存在しているので、公園内の小川は、やつぱり人工的に作られたものだ、と確信する。高原から少し下ると、「長良川」をチェックする。分岐点の上流側



「最上流の滝」があり、この先が長良川の源流で、公園の小川には繋がっていない。夫婦らしい二筋の素晴らしい滝を見てから、美濃白鳥まで一気に下り、長良川鉄道の始発駅「北





濃鉄駅に保存されている
「手動式転車台」を見



に行く。昭和の旧国鉄越
美南線当時、使用されて
いた蒸気機関車は一方通

行なので、終点駅で、方
向転換する必要があるの

は当然だが、人が手でレ
バーらしき鉄棒を押して

転換していたとは、 Hutch

びっくり。由鳥から、長良川を挟んで国道と反対側の県道を走ってみると、平日なのに、高そうなバイクがたくさん停まっている。レバードリバーハンマー「KODACHI」があり、ハンバーグとステーキのお店のようだ。丁度、12時前だが、既にランチ用弁当を買ってあるので、スルーして、ホテル郡上八幡にある日帰り温泉「宝泉」に入り、

13時過ぎ、今日のキャンプ場「KITEEN長良

川オート」に着く。グーグルマップで見つけたキャンプ場だが、できたらばかりのようで、流行りの



グランピング施設もある。なのに、フリーサイトは1,500円とお安めで、シャワーも15分間無料…それを知つていれば、温泉には入らなかつたのに、 Hutch 後悔。サイト面は芝生ではないが、水はけのいい砂利で、ペグもしっかり刺さるので問題なし。ランチ後、大相撲観戦、そして夜はポートを頂きながら、阪神の応援をするも広島に2-6の完敗…。

【走行距離50km 獲得標高1,043m】

【走行時間2:15 平均速度22.2km/h】

【本日の会計】¥4,858

【KITEEN長良川オートキャンプ場評価：3の点】

2022年12月にオープンしたばかりの新しい川辺のキャンプ場。ランチドリーと充電ができないだけで、他の項目はほぼ完璧。虫も全くいない。因みに、グランピングは、24食付きで2万円。

●2024年5月22日(水) 18日田 曇り晴れ 南西23m



今日は、更に、長良川沿いに下り、犬山まで約50キロの旅。の時にグランピングテントをバックに出発ジャンプを決めて、田舎道を走っています。



と書いた車両が、丁度、踏切前をゆっくりと通過していく。地方のローカル線などで、最近流行っている観光列車だが、普通に人が降りて乗るので、平日は通常の便として利用しているのだ。一面金色に輝く麦畑が見えて嬉しい、これだけ綺麗なのは珍しいので、一枚パチ

「ながらかわかせ」

いてある。更に、これは、独特な作風で木彫りの仏像を製作した田部の故郷らしい、「田部のふるさと美並」と書いてある。田部といけば、高田の千光寺には、田空仮がたくさん保存されており、寺院好きのM村氏がGWに見に行っていたが、激坂だったりだったので、筆者は、これで十分。「道の駅美並」に寄ると、あの「おにやんま君」があり、筆者のと全く同じなのに、昨年、根室で買った値段より300円も安い。値下げしたのだろうか、気になる…。既に一つ持つてるので、代わりじゃないけど、

「みなみ子宝温泉」と書く。「みなみ子宝温泉」と云う駅があり、駅舎がそのまま温泉施設になってしまっているのは珍しい。そして、この辺りが、日本本地図の重心地になっていた。ついで、「日本まん真ん中温泉」と書



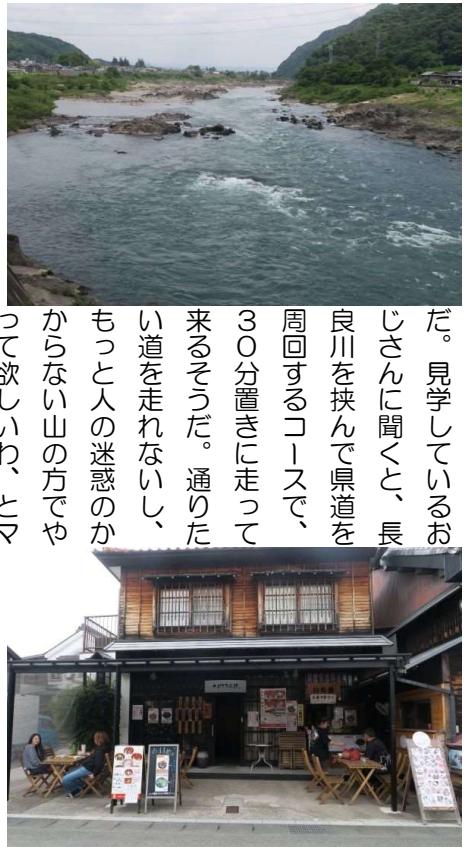
旅のお土産用に、かわいい「おにやんまくん」610円を一つ買って、自転車に付ける。美濃市の町に入ると、あちこちに通行規制をする警備員が立っていて、「なんやねんー」と思ったら、丁度、今日、ツールドフランスの日本版「ツアーオブ・ジャパン」の美濃ステージが開催されているよう



だ。県境しきるおじせんに聞くと、長良川を挟んで県道を周回するコースで、

30分置きに走つて来るそうだ。通りた

い道を走れないし、もっと人の迷惑のかからない山の方でやつて欲しいわ、とマ



ジ思つ。刃物が名産の関市から東に向かい、木曽川に出でて、日本三
大川下りではないが、「日本ライン」と呼ばれる川下り場があるが、や
んなど大した急流ではないので、イマイチ…。13時、犬山のホテル
に着き、犬山城が望める城下町へ行くと、観光客が平日なのに結構多

い。店頭販売が多い
中、店内で食事できる
お店「どて万次
郎」に入り、どて煮
と味噌串カツ2本に
加えて生ビールを2
杯飲み、食い足らな
いので、近くの店
で、タコ焼きを買つ



【走行距離133km 獲得標高230m】

【走行時間3:10 平均速度 16.7km/h】

【本日の旅費】¥9,427（ホテル代¥5,900 他税込）

●2024年6月23日(木) 10日目 曇り 湿度30%

犬山→名鉄→豊橋

今日は、明日から始まる本州OBAWANのため
に、豊橋まで行かなければならぬが、10
0キロもあるし、豊橋まで乗り換えなしで行
けぬ鉄特急が、丁度、犬山から出でている
で、輪行するに付けて。木曽川を渡る犬山
橋へ行くと、現存する1~2天守の一つである
国宝犬山城が見え、綺麗に川面にも映つてい
る。改札前のホームから乗車できる「犬山遊



て、ワンカップも飲む。夜は、
神鉄時代に、ゴルフと麻雀の遊び仲間だった丁井氏が単身赴任
で犬山に住んでいたので、伝

串とKFCの鳥革串が名物のお店
「新世界」で、久しぶりに田交
を温める。阪神は、大竹の好投
と大山の滅多に見られない活躍
で広島に2-1で競り勝ち、貯
金を6つに伸ばす。

串といふ鳥革串が名物のお店



園駅」を見つた、自転車を袋に詰め、自販機で切符を貰いつか、イコカのカードが中で引っ掛けられて出来ない！無人駅なので、連絡電話で、その辺伝へないと、犬山駅から電車に乗って駅員がやって来て、カードを出してくれぬか、「こんな角がぬくれたカードを入れたらダメ」と怒られた…。つまでは、チャージするためには何度もインカムしてくるのに、と思つたが、素直に謝る。そして10時、豊橋行きの直通特急に乗り、ナシードやJR約すれば、特徴料金が150円取られるのを知り、チヨシック…。80分で豊橋駅に着き、「んかせ、グルメの「井田氏」教えてからひつた豊橋の名物店「スペゲッ亭チャオ」に入り、一番人気のチキンカツとワインナーが載った「バイキング」を注文するも、カツもワインナーも小さく、これで1000円は高い！しかし、人気店なので、平日なのに並んでお客さんが入つて来る。トマトベースのあんかけソースはまあまあだが、パスタも普通な



ト。豊橋カレーうどんは、つむぐんの不じょう飯が入つているのが特徴で、美味しい。風味のパスタとは雲泥の差だ。阪神は、広島じっくりで何とか勝つも、チャンスを回りも逃し、イリヤーかわ。



【走行距離のKM 獲得標高47M】
[走行時間0:29 平均速度12.6km/h]
●2024年5月24日(金) 20:00田原市 曙の晴れ 四四三



の、この量なら100円が妥当だねい、と思う。そして、夜は、一井氏お薦めの「豊橋カレーうどん」にしておいたり、丁度、東横インのロッキーのお店案内があり、こじから近い「勢川（せがわ）本店」で、カレーランチと蕎麦味噌「とにやく」をテイクアウト。豊橋カレーうどんは、つむぐんの不じょう飯が入つていのが特徴で、美味しい。風味のパスタとは雲泥の差だ。阪神は、広島じっくりで何とか勝つも、チャンスを回りも逃し、イリヤーかわ。



サンキョーフーズと並んで煮などのはじ飯のお供を製造している食品会社で、遊園地とは全く関係ないようだ。11時前、サイクリングで豊橋鉄道渥美線の終点、三河田原駅に

時半にホテルを出て、生活道路をのんびり走つてゐると、人だかりがあり、「レインボー」と云つカツフの前に立つてゐるテントには、機材やモニターが!。写真を撮つうとカメラを構えんど、テントの人から「カメラはダメ!」と怒られる…。近くにいたお姉さんに聞くと、どうも映画のロケらしいが、誰がいるのかはわか



今日は、渥美半島の先端まで走り、フェリーで鳥羽へ渡り、近くの宿まで約60キロの旅。風は西からのアゲインストだが、アップダウンは道を選べば少ないので、気分は楽だ。9



る「イエローキング」と云ふ品種は、小さめだが、3個で1200円はお安い。でも、3個も要らない…ばかり売つしてくれないと嬉しいのが…。出港40分前の13時に伊良湖（いりう）漁に着き、伊勢湾フリーライフの伊勢丸で、紀伊半島の鳥羽へ。フェリーの受付をすると、「自動車の方にはドリンクサービスです」と交換券をくれたので、フェリーの売店で渡すと、なんとペストリーや瓶のサイダーをくれる。お弁当にサイダーは合わないし、鳥



着き、少し待つてこの
と、○ボランに参加する
諸先輩後輩方が電車に乗
ってやつてくる。集合は
13時なので、挨拶だけ
して、ひとり、先へ進む
と、渥美半島はメロンの
産地らしい、あちこちに
メロンのお店が並んでい



SINFONIA



羽サイダーがあるのと、駄
へのお土産にあたるが、瓶は
重たふわ…。フローラ内に
「自転車ついでご飯」のポス
ターがあり、「自転車の田は
自転車推奨田間のこべ、そ
の関係で、サイダーをくれ
たものだ。一度一時間で鳥
羽港に着陸し、30分で今

やたのじ、帰船に間に合えなかつた田舎が悪こののだが…。HILTONが
一せわい出なくなつたが、やいせり食べたいなこので、困つてした
い、牡蠣が旨手な先輩がこし、交換してくれて、結果、焼牡蠣が三
つになり、チチ嬉し。残つたHILTONは回とか食べね。阪神が、な
んと田人の郷にノーヒョウノーハンを達成されし、O—Oの負力
…。今年は、田人が優勝するかもしねば、ヒ略の。
【走行距離57.7km 獲得標高210m】

【走行時間3:24 平均速度16.8km/h】

【本日の旅費】¥15,351 (燃油¥9,000、HILTON¥3,100 他)

田の宿「民宿潮騒」に着く。やの途中、シーフォートの工場を発見。元
は「神鋼電機」といひの神鋼の関係会社で、鋳物屋さんが溶解設備とい
て使ひの電気炉のメーカーであるので、銑鉄営業時代、田々とお世話
になつた余社である。いじめ、「ふへつかー」トクノロジー株伊勢製作
所鳥羽工場」で、昔、お世話をされたお島やえせ、いじめにいた娘がわ
る。1の次の本隊は、1
7時半に到着し、お風呂
が小さいので、夕食は1
の時開始となり、1の時
にリストランへ行く、
なんと、甘えび、焼き車
海老、HILTONのHILTON
味! 伊勢いにやせば海老な
のと、HILTON味を想像で



2024年春のチャリティキャンパラルツ旅（その5）

野田俊

● 2024年4月5日(土) 21時 晴れ 北西15度
鳥羽一度会→南島



○キロの旅。HCC
が入っていない朝
食を頂き、8時半
に出発写真を撮る
も、風が強く吹いて
いて、三脚が倒
れかかったタイミ
ングで、丁度シャ
ッターが下りて、



「夫婦井」と「見興玉(ふたみおきたま)神社」があり、随で寄ってお
参りする。たなせか大きなカエルがいて、その向いに立って、夫婦井と掛
かる大注連縄が見えれる。いよいよ見町のマンホールに向ひ、夫婦井と掛
ける出が描かれている。カエルは、「旅から無事かえぬ」「貯したものが
がかる」「おかべる」という意味があり、縁起物のつぶ。しかし、
伊勢神宮の内宮へ向かう本隊と別れて、ひとつ下町(カボウ)へ向か

うと、伊勢参りを
描写したマンホール
がある。内宮には、周りにお店が
いっぱいあり、あの赤福の本店もあるが、下町はひつ



みんなの口が大きくなり開いていて、「ア」と叫んでいたのが、よくわかる
面白い写真が撮れる。心配してもらつたが、マイカメラは振動や衝撃に強い耐振性対応なので、問題なし。宿の近くに、伊勢の名勝

「夫婦井」と「見興玉(ふたみおきたま)神社」があり、随で寄ってお参りする。たなせか大きなカエルがいて、その向いに立って、夫婦井と掛けられる大注連縄が見えれる。いよいよ見町のマンホールに向ひ、夫婦井と掛ける出が描かれている。カエルは、「旅から無事かえぬ」「貯したものがかかる」「おかべる」という意味があり、縁起物のつぶ。しかし、伊勢神宮の内宮へ向かう本隊と別れて、ひとつ下町(カボウ)へ向かうと、伊勢参りを描写したマンホールがある。内宮には、周りにお店がいっぱいあり、あの赤福の本店もあるが、下町はひつ



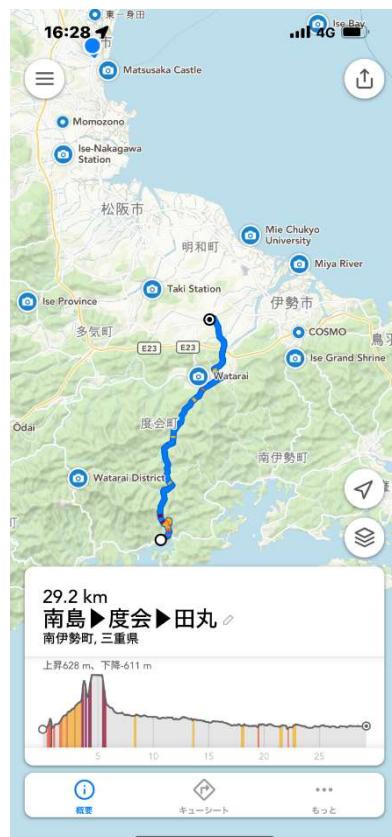
が見えていた。12時半過ぎ、「浮島パークなんとうキャンプ場」に着く。既に、幹事のM本氏がマイカーで到着しており、ピールと弁当のランチを済ませたあと、T井氏の三人で、15キロほど離れたスーパーへ行か、BBQ用の食材や朝食の買出しをする。スーパーの近くに、地元で獲れた食材を中心とした輪焼きができるお店があり、そこで、**大アサリ、イカ一夜干し、ゲソ串、タコ串**などをゲットし、スーパーでも野菜や米、そしてアルコール類を大量に買つむ。16名の飲食分を用意するのは、ひと苦労。しかし宿代は、1トージ代含め一人800円田で、昨日の1000円とあまり変わらず。阪神は、木浪、渡邊、森下、ビーズリーの活躍で、巨人に3-0の快勝。



その後おひ、御朱印も素朴でシンプルだ。内面は5キロほど離れた場所にあるので、何回も行ったことのあるので、参りすじ、最短コースでキャンプ場へ。150円チップの料金を何とか越えねど、遠くに熊野灘



今田は、70キロ先にある津のホテルまでなので、走れないことはないが、2年前に伊勢から津まで走ったことがあるので、山越えした後、最寄りの近鉄駅から輪行するといふ。本隊は、東方にある近鉄の駅まで走るのだが、出発前になつて雨が降り出したので、小降りになつた8時頃に出発していく。筆者は、急ぐ必要がないので、雨が完全に止むまで待つて、9時過ぎにキャンプ場を出発。



● 2024年の四月の四日 (四) 2024年4月 四季の晴れ 南東の風
【走行距離41km 積荷標高475m】
【走行時間2:27 平均速度16.7km/h】
[本日の旅費] ¥10,208

昨日上った峠をまた上り、11時半、田丸とは

う神宮風の駅に着き、JRで津駅までワープす

る。雨予報の明日も、津駅から電車に乗るの



今日は宿になれば、50キロ先の桑名まで自走して、サ

イクルトレインの養老鉄道を利用して大垣まで移動し、会社同期の丁口氏と食事する予定だったが、

朝から雨なので、桑



名まで輪行してから自転車を組み立てるといいですね。11時半頃に雨が止みないので、それまでホテルのロビーでのんびりして、止んでから、自転車をまた借りて駅まで自転車とバッグを運ぶ。安いでいいが、ゆったり乗れる近鉄特急で桑名へ行き、駅構内にある養老鉄道の改札前で自転車を組み立て、ホームへ。大垣行きサイクリングトレインのシールが貼ってある(回編)



み立てず、ちょっと離れた東横インから自転車を借りて、ホテルまで運ぶ。駅前に、鰻屋さん「大観亭」が丁度あり、ここ向にがあるし、一回入って310円はお安めなので、つな重ではなく、久しぶりに「ひつまぶし」をトライカウントして、ホテルのロビーで缶ビールと一緒に頂く。ロロナで、大抵のお店が、テイクアウトできるシステムを導入したので、お店の高いピールやお酒を注文せずに安く呑めるようになれる。阪神は、オ木が8回ゼロで抑えるも、ゲット、吉崎が四人に打たれ、1-2の延長逆転負けを喫す…。好投のオ木が可憐をうだ。

【走行距離31km 獲得標高326m】

【走行時間1:50分 平均速度16.3km/h】

【本日の合計】¥11,537 (ホテル代¥6,175、JY¥590 他)

●2024年5月27日(月) 23日間 回数の 東の三

津→近鉄→桑名→養老鉄道→大垣



成の電車に乗り込み、自転車は車椅子スペースに立て掛け。14時半、桑名から70分で大垣に着き、駅前





で見つけたカラーマンホールを撮ってから、東横インがないので、コンフォート大垣にチェックイン。夜は、

会社同期で関係会社の役員をしてこねー一口氏とその同僚で自転車好きの一西氏の3人で食事をするが、

一口氏が、松葉杖で現れてプチびっくり。スキーデボーダーを避けようとして転倒し、左膝の前十字靱帯を断裂してしまい、今月、手術したばかり、とのこと。自転車ツーリングの話や、彼の会社は、鋳物も生産しているので、その話でも盛り上がり、あつという間の3時間が経ち、21時、ホテルへ戻って寝る。

【走行距離1km 獲得標高20m】

【走行時間0:00 平均速度9.0km/h】

●2024年5月28日(火) 24日目 羽 岡東5

今日は、台風一時の影響で、終日、雨予報なので、大垣のホテルに連

泊あるひです。終日、ほぼホテルに滞在し、部屋で旅し作成作業をしながら、のんびり過ごす。

【本日の旅費】¥7,275 (ホテル代¥6,100 他)

●2024年5月29日(水) 25日目 晴れ 北西53
大垣→羽島→一宮→江南→犬山



今田は、明日、一時帰宅するので、自転車やバッグを預かってくれる犬山の一井氏宅まで約40キロの旅。昨日の荒天と違って、朝から晴れ間が見える好天の中、9時過ぎにホテルを出て、水郷の町である大垣の町中を散策する。大垣八幡神社前にある湧き水や住吉燈台などを見つけて



と、「奥の細道むすびの地」の記念碑



が一・松尾芭蕉はみちのく旅のあと、北陸を通り、ここに大垣で旅を終えたと書いてある。全く知らないかったので、またひとつ賢くなる。東へ進んでみると、揖斐



川、長良川、木曽川の順番で大河があり、どちらも昨日の雨で水量が多く濁っている。特に最後の木曽川は、広角レンズに収まらないほどの川幅だ。木曽川沿いに農道を走っていると、道の向こうにて、塔みたいのが見えてきたので、行ってみると、木曽三川公園内にある「ツインアーチ138」。138は一宮(ふたのみや)に因んでおり、高さがアーチ方式では、東洋一で、138mあるらしい。一本のアーチが頂上でクロスしており、展望台がその直下にある。あそこへ行くには500円もかかるので、当然の如くスルー



して、12時半、犬山の町に向ひてある日帰り温泉「あわい・あへいの湯」に着き、まずは隣接の蕎麦屋「長江」に入



り、ランチタイム。天ぷら、小鉢、デザートが付く1480円の平日限定ランチを注文し、「海老がダメ」と云つて、他のものに替えてくれる。フチ嬉し。離れた壁にデジタル表示のセンサーがあるも、数字から見て何の値を示しているのか、わからないので、近寄ってみると、なんとCO₂濃度…。口ナ禍時に設置したのであればが、やう意味がない氣もすい…。食後、温泉に入つて汗を流し、のんびり風呂してから、16時、近くで見つけた「メタ珈琲店もじきの「せんべり珈琲店」へ移動して、T井氏が帰宅するまで時間調整。ちょっと高いが、美味しいコーヒーが飲みたいので、710円の「炭焼珈琲」を注文すると、紅茶みたいにポットが付いてきて、3杯分もある





が、コーラー三杯也あつこ…。→呑半、仕事からの帰つて来た十井氏と和流し、アパートの隣の邸にてこの旅館に、自転車とバッグを置かしむやい、七日前にも行った鳥皮のお店「新時代」く。メーラー』、ガリガリ君サバーが入つてゐるだけ…ひだりの田舎醸造物の瓶があるン、味も想定内。阪神は、大竹が先発すれや、田へぐるーの完敗。

【走行距離47.4km 獲得標高31の△】

【走行時間2:30の△ 平均速度17.7km/h】

【本日の旅費】¥7,329 (飲み代¥3,005 他)

● 2024年6月30日(木) 26日 晴れ

犬山駅→名鉄→名古屋駅→JR→新神戸駅→バス→神戸北町

今日せ、名鉄、新幹線、バスを乗り継いで、自転車で長旅の旅。の時半に起きて、十井氏が出勤するの時半、一緒に出て、徒步で名鉄犬山駅へ。通勤時間帯だが、始発駅に近いので、急行でも座れるも、隣のマスクをしたねばねさん「マスクをしない」とはわれ、持つてないので、別の隣に移動すれ…。端窓持ただか何だか知らないが、チチ飯分悪し。名古屋でののみに、新幹線で市バスに乗り換えて、の時半、自転車に乗車といったやう。阪神は、新庄田ハイツ、Oーの完敗を嘆しげ、名流戦セ連敗スタート…。

【本日の旅費】¥8,922 (交通費¥8,200 他)

● 2024年7月1日(水) 27日 晴れ

神戸北町→市バス→新神戸駅→JR→名古屋駅→名鉄→犬山



会社回観の○山氏が主催する昭和ガルフ俱乐部での定期ゴルフ会に参加するべく一時帰宅したのだが、奥様の実家のお庭の樹木を剪定するという業務命令をこなしてから、犬山へ戻る。駅前のスーパーで買出しをつい、自



転車を置いたお祝い、キャンプついで作つてごめん。シチューの種と麻婆豆腐を作り、宿屋でサシ和み。十井氏御立せ、女子プロゴルフターのサインボールがたくわん飾られていて、海外駐在が長かったので、JAPGOLFに参戦している浜野日向子、畠岡奈紗、小祝やくじなま、日本のトッププロが揃っている。金子、アメリカのJULIA GOLFER一メーナメントで、直接、本人にお願いして、持参のゴルフボールにサインしてもらつた、との事。阪神は、和室がの回し遊転ツーフンをねたれて、楽天LPGAで負け



…。

【本日の旅費】¥10,814 (交通費¥8,200 他)

●NOV4日目の旅の日(木) 200km 晴れ曇り 南西

犬山→小牧→春日井→瀬戸→豊田→奥矢作湖



2024春の旅は、今日から、今回最大のキャンプ場である佐渡ヶ島を目標とする旅に入る。まあ今日は、長野県に繋がる愛知県北東部のキャンプ場で、約800キロの旅だが、距離がある上に、山岳地帯に入っているので、ハーデな一日になつた。7時に会社へ向かうT井氏と一緒に出発ジャンプを決めて、お世話を決



た犬山から、まずは山を避けながら、藤井聰太棋士の地元である瀬戸市へ向かう。途中、小牧を走っていると、桃と飛行機とお城が描かれているマンホールがあり、知らなかつたが、小牧は桃の産地らしい。瀬戸焼のお店が並ぶ瀬戸の町中を通つ過ねると、山道にな



り、標高360mの山越峰を越して、トネヒ、矢作川沿いの県道11号に出る。14年前の2010年7月、名古屋のWRC選手権が主催する（おちやんじゅく）（おちやんじゅく）の「ハンド」、この川を遡上して奥矢作湖のキャンプ場まで走ったことがある、今日も、その道をなぞることになる。旭と云う集落ほど来るとい、WRC（世界リーグ選手権）を歓迎する看板があり、岐阜県と愛知県辺りでジャパンステージをしているのは知っていたが、この忍びとは…ハンドのハンドである。奥矢作ダムへの上りは、途中にトンネルがあり、14年前、あまりのめつわい、T井氏がブチ切れていたことを思い出し、笑いつぶつなる。湖畔沿いの道やアップダウンがあり、フル装備の筆者もヘロヘロになつながら、16時



半、犬山を出で
6時間半ほど

で、14年前に

も泊まつた「奥
矢作レクセンタ



「キャンプ場」にやつと着く。あの時は、廃校になった校舎に泊まつたが、今回は、奥のフリーサイトにチケットを張ることにして、ランチタイム。昼間、コンビニで、コーラ1つ

ツトル券が貰えるといふので、**新発売のパー**

チコーラ

を買つも、めまい…。設営後、校舎内にあらわす田のシャワ

ーを浴び、冷蔵庫があつたので、管理人に聞くと、「**使用料は1100円だ**」と云われ、果然じきね。しかも、冷蔵庫を貸してもらひに、お金も請求されたことがなかつたので、内心ブチ切れる…。阪神も、西投手があたHマーをして、楽天にあらかの3連敗…。

【走行距離74km 獲得標高の160m】

【走行時間5:08 平均速度14.4km/h】

【本日の合計】¥4,187

【奥矢作レクセンタキャンプ場評価：3つ星】

トイにてコンセント、ウォッショモア、電波もOKだが、サイド面
は土、シャワーは高め、保冷剤は冷蔵庫が論外の高額、利用料も17
5円と高めで、こんな山奥なのに、ほつたぐり感が強いので、印象
は悪い。



●2024年6月7日(金) 2024年 畏の南13
奥矢作湖→根羽(ねば)村→壳木(くわき)村→白樺高原



今日は、長野県の南端に位置する壳木(くわき)村にあるキャンプ場
まで約30キロの旅だが、高低図のよつし、ずつと上りで、最高地點
の標高は1,150m。いじが350mなので、800mもアップしな
ければならない…。昨日
ようやく一日に
なつた。な
で、6時に起き、バ
ナナ、ミルク、
一合の「ほんに納豆
と生卵の朝食をしつ
かりと食べ、8時
半、校舎前でジャン





毎晩を撮ってから出発。キャンプ場はマンホールには、上矢作町「福寿の里」があり、河童みたいなマスクシートキャラ

が描かれている。矢作川の南側へ渡ると、愛知県豊田市で、更に進むと、長野県根羽(ねば)村になつて、この先の町で買い出しが済まし、標高11150mの売木

(いりゆく)駅へアタック。標高110キロ、600mアップを2時間強で何とか登り切り、あとはキャンプ場まで下り。13時から雨予報だったが、雨雲はいじには来ず、13時半、標高1070mの白樺高原キャンプ場に着くが、広い高原のイメージとは異なり、普通のキャ

ンプサイト。小屋みたいなしょぼい管理棟で受付を済ま

し、外のベンチで、缶ビールを飲みながらランチをしていると、管理人のおじさんが、「自転車でみくじおできたねえ」



といながら、チオピタとかりんとうとチヨコバーと温かい日本茶を差し入れしてくれる。売木峠までの残り300mアップは勾配10%近い激坂が続き、脚は疲れ切っていたので、管理人の優しいサービスに感謝する。そして、15時頃、ベンチに座つてこだけなのに脚が轡り、悶える中、ツムラの608番ですぐ治る。遠くで「ロゴロロ鳴つて」とるので、雨雲レーダーを見ても、この辺りは大丈夫だが、二十日前に通った飛騨古川が大雨で、JR高山線も止まっている。認証後、ひるねをしてから、クリスマスチューを作つてテントに入るが、ドコモの電波が全く入りなくなる、ダゾーンモリジコも繋がらないので、仕方なくアナログのラジオを出して、中日楽天戦を聴く…。後で知るが、阪神はテル、前川、近本の活躍で西武を4-1で破り、貯金ひとつになる。



【本日の会計】¥4,174
【白樺高原キャンプ場評価：2.6点】

東屋や屋根付き炊事場がない、シャワーもオッシュもないのに、2400円のキャンプ代は高過ぎる。そして最悪なのは電波が圏外…

2024年春のチャリキャンプひとり旅（その六）

野田 俊

●2024年6月8日（土） 30日 晴れ 南1m
白樺高原→阿南→下條→飯田



今日は、北上しながら高原を下り、飯田市の西方にあるキャンプ場ま

で約50キロの旅。

9時、親切だった白樺高

原キャンプ場の管理人

ご夫婦に「また来てね
え」と云われながら、

ジャンプを決めて出発
する。しかし、電波が

圏外なので、もうここ
に来ることはないな



ヨックなので、仕方なく、100mもアップするトンネルを越えて
いきます。その先を下り、「信州新野千石平」と云う道の駅
に寄るとい、この辺りの名物だいつか、大御幣餅と書いた看板があり、
長さが22センチもあるりじこ。珍しいが、480円はチト高いの
で、スルーして、豊橋と飯田を結ぶ国道151号

線を北上する。国道と並行して走っているJR飯
田線は天竜川沿いにある

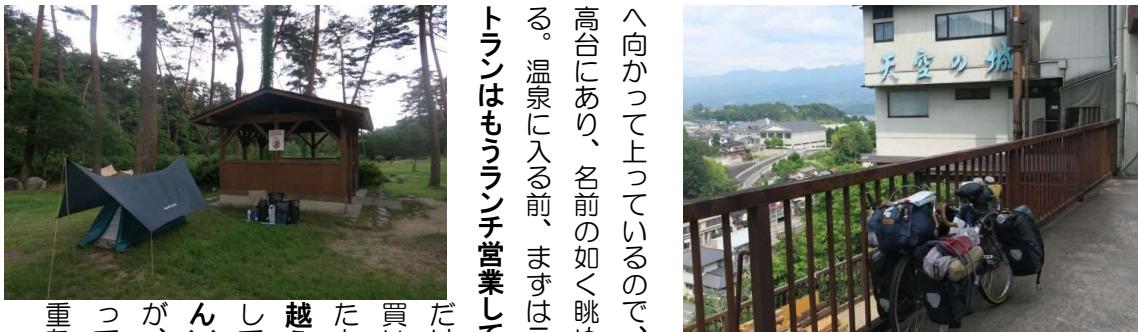
が、この国鉄は、少し離
れた山あいを通っており、数
十m級のアップダウンが六
つもある。遙か下に見え

る谷を越える大きな橋に、
多少助けられるも、脚への



めの看板が！売木川沿
いに下れるいい道な
に、チヨック…災
害復旧工事中なので、
自転車なら通してくれ
るかもしれないが、ダ
メだったり、もっとシ

あ、と思いながら、ダ
ウンヒルを楽しんでい
ると、いきなり通行止



ダメージが大きい…。13時頃、リノ・コロと音楽の町、飯田の町に入り、まずは、昨日入れなかつたので、西にあゐ温泉「天空の城」へ向かう。飯田の町中は平坦じやなく、西へ向かひつゝ上ひつゝこないので、想定外…。その上、温泉はじこでもない高台にあり、名前の如く眺めはいいが、無駄なアップを余儀なくされね。温泉に入る前、まおはランチを、と思ひ、フロンントで聞くと、レストランではない、とのこと…。仕方ないので、温泉だけ入り、近くのスーパーでマグロ寿司などを買い、もつと西方にあるキャンプ場まで、また上る。結局、**今日の獲得標高は8000m**を越えてしまひ、昨日や一昨日のの〇〇mと大して変わらない…。今日の宿、**妙琴(みよつき)**公園は管理人がない無料のキャンプ場だが、東屋や屋根付き炊事場などインフラが整つている素晴らしいキャンプ場で、土曜日も重なつて、固体キャンパーが結構多い。特



に、BBQハウスでは、東南アジア系の若い男女10組ぐりいが騒いでいて、メチャうるさい…。でも、炊事場に近いので、そのBBQハウスの隣に設営する。むか、17時を過ぎてこるので、すぐでかい麻婆豆腐にして、結果を知らない昨夜の阪神と西武の試合と今日の試合をダゾーンで全部観る。20時を過ぎると、BBQハウスの連中は帰り始めたので、一旦静かになれるか、今度は飯田市の花火大会が始まり、音と衝撃波が気になつて寝られない…。阪神は、森下の大活躍で4-1の快勝を收め、貯金が二一つになる。広島が同4、巨人が同3なので、首位とのゲーム差。

[走行距離50.5km 獲得標高8111m]
【走行時間4:03 平均速度14.5km/h】

【本日の余計】¥4,300

【妙見公園キャンプ場評価：33点】

町から川沿いに600mアップは少しきついが、東屋や屋根付き炊事場があり、無料ノーサイドのキャンプ場にしては、掃除も行き届いている。シャワーやウォッシュレット、コンセントはないが、電波は全然入るので、また来てみたいキャンプ場である。

●2024年6月の日(日) 31日 曇り 南53
飯田→高森→松川→飯島→駒ヶ根





今日は、天竜川に沿って旧伊那街道を北上して駒ヶ根のキャンプ場まで約40キロの旅。空気が入れ替わったようで、予想最高気温は20°C。しかも、南からの超フオロー。朝方の雨予報も結局降らず、遅くなつたが、10時半に出発ジャンプを決めて、北へ向かう。本来なら、東寄りにある天竜川まで下つて川沿いに走る方が楽そつといいのだが、今日のキャンプ場も西寄りにあるので、西寄りにある



南信州フルーツライ

ンと云われる農道を選択。フルーツが付く道なので、あちこちにリンゴの木があり、赤ちゃんのこぶ

今日は、天竜川に沿って旧伊那街道を北上して駒ヶ根のキャンプ場まで約40キロの旅。空気が入れ替わったようで、予想最高気温は20°C。しかも、南からの超フオロー。朝方の雨予報も結局降らず、遅くなつたが、10時半に出発ジャンプを決めて、北へ向かう。本来なら、東寄りにある天竜川まで下つて川沿いに走る方が楽そつといいのだが、今日のキャンプ場も西寄りにあるので、西寄りにある



ある駒ヶ根にやつと着く。途中、アップルパイのお店があり、小腹が空いたので、軽く食べようと思つたが、1ピース700円もあるので、諦める…。14時半、木曽駒ヶ岳の麓にある駒ヶ根キャンプセンターに着き、受付をすると、管理人の「一ちゃんが「今日は、他に誰もいないし、今晩、雨だから、常設テントに泊ま



り、14時頃、標高750m地点に



つていいよ」と仰ってくれたので、遠慮なく甘えることにす

る。フリーサイト代1300円で、3200円の常設テントに泊まるので、メチャラッキーである。その上、常設テ

し大ぐらいの実がたくさん生つている。農道は細かなアップダウンに加え、飯島町の手前にある松川町からきつい上りが始ま





ホト横には、田舎の宿舎に泊めて一泊二日で、自転車を入れてから、**ロカケ焼肉弁当**遅めのバスチを済ました、100円で時間制限なしのシャワーを浴びて、800円のバスチ一いやしで、50円分の洗濯物を大きなバスチ内に全部干す。バスチ内に照明がないので、ランタンを三脚に掛け、ボトフを作り、阪神の試合を観ながら頂く。阪神は、オ木の好投で西武に3-0で勝ち、3連勝。今朝の買出しの際、繩引に効くシグマの10番が無くなつたので、エリックストアに駆け、薬局のねねえかやで、「津村順天堂の漢方薬60番」はあつあすか」と聞くと、「津村順天堂など知つません」と冷たいくづわれる…。「なんなはあせないでしょ」と聞き直す、「シグマの漢方薬ないあつあすか」といふ。うつだか知らないが、社名盗用で、順天堂が抜けたりして、今の勘で予て、順天堂では通じないようだ…。ステック状で80本入って、2640円はチト高い気があるが、必要不可欠なのでやむなし。

【走行距離のまとめ 獲得標識の1-1】

【走行時間】: 100 日均速度 13.4km/h】

【本日の旅費】¥5,125 (シグマの100円2,640円含む)

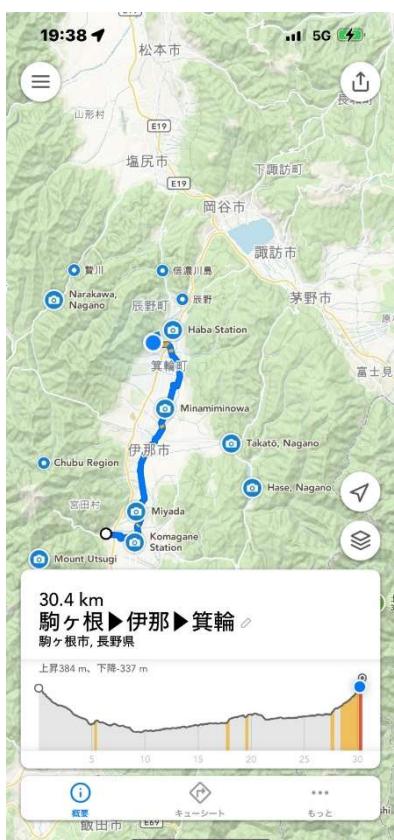
【駒ヶ根キャンプヤンタ一晩価 : 400円】

フコーカイト綺せーの00円ひかと高めだが、電波充電OK、シャワ

ー、ハンドコー、黒根村も炊事場だし、インフルは整つていて、迷宮船も驶らしてやれぬので、おた来たじキャンプ場である。

●2024年6月10日(日) 360km 晴れ 南1m

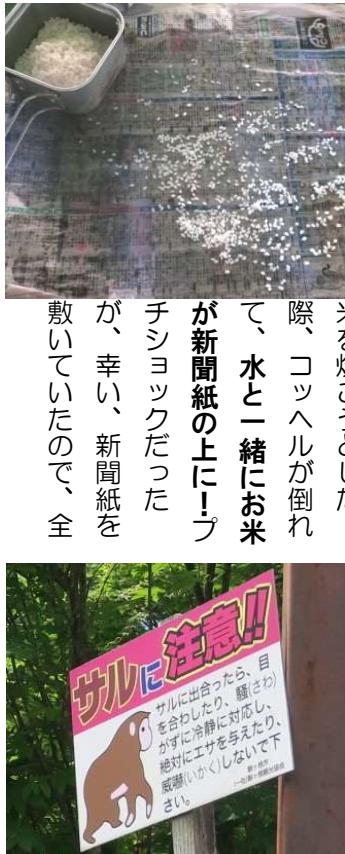
駒ヶ根→伊那→箕輪→長田



今日は、天竜川に沿つて旧伊那街道を更に北上して伊北地方にあるナ

ヤンツ湯おで絶のサロの短い旅。寒いのが心配でしたので、お

米を炊いて、コップヘルが倒れて、水と一緒にお米が新聞紙の上に一oprチショックだったが、幸い、新聞紙を敷いていたので、全



サルに注意!!
サルに出会ったら、目を合わせたり、騒(さわ)を含む言葉に反応したり、必ず静かに対応し、絶対にササを与えたり、威嚇(いかく)しないで下さい。
猿(さる)の命を守るために、このサインを設置しました。
新規開拓者によるサルとの共生を目指す活動の一環です。



中の食べ物を盗まれたことがあるので、基本、猿は嫌いだし、出遭ったくない動物である。今日は、昨日走ったフルーツロードではなく、東寄りにある天竜川まで下り、基本、川に沿った県道を走ることにして、下つてみると、水を張った田んぼに青空と白い雲が映っていて、シンプルに心が和む。川沿いの道は、想定通り、アップダウンのない緩やかな上りで、のんびり楽しみながら、伊那の町に入ると、筆者が好きな丸亀製麺のお店があったので、定番のうどん弁当を買つ。トンボとお魚とカニさん

が描かれている可愛いマンホールの箕輪田に入つたところで、電話が鳴り出る。今日お世話になるキャンプ場の人から、「昨日、キャンプ場への道でクマの目撃情報があつたが、どうぞおまか」とのこと。クマと



「サルに注意！」の看板があり、「目を合わさず威嚇せず餌を与えるように」とある。猿には昔、バッグの中の食べ物を盗まれたことがあるので、基本、猿は嫌いだし、出遭ったくない動物である。



「フリーサイトは坂の下の入口横です」と云われ、メチャシヨックーちゃん(?)といひ、自転車を下に置いて歩いていったのに…管理のおねえちゃん(?)も、「電話してくればならない。その上、激坂なので、ヒーハー云いながら押して何とか辿り着くも、受付をすると、「フリーサイトは坂の下の

…。失意の中、登ってきた道を下り、お姉ちゃんから、「クマが出るのでキャンパーがいるオートサイトを勧められたが、オートの方が林間で雰囲気悪いので、眺めの良い明るいフリーサ

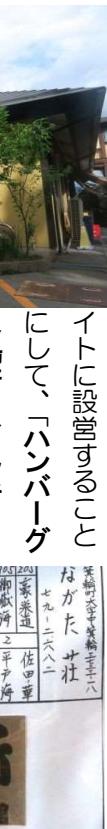


聞いた瞬間、また閉鎖か、

と思つたが、「閉鎖はしない」とのことなので、泊ま

い」とことなので、泊ま

ることを伝へ、山の麓にあ



イトに設置された」と
にして、「ハンバーグ
&鶏唐揚弁当」

を頃く。15時半、
自転車で数分のところ
にある「ながたの湯」へ行

くと、長野県出身力士「御嶽海」のサイ
ン色紙があり、その

賞得者名	105	102	204	202	101	203	201	103	205	104	203
善き輔	104	102	204	202	101	203	201	103	205	104	203
麻雀	304	302	明瀬山	志摩海	東龍	秋治郎	碧山	庄太郎	福煙山	猪木	柳澤道
南満	304	302	麻雀丸	志摩海	東龍	秋治郎	碧山	庄太郎	福煙山	猪木	柳澤道
隆里	304	302	明瀬山	志摩海	東龍	秋治郎	碧山	庄太郎	福煙山	猪木	柳澤道



下記、2018年の春巡業で「」泊まった時の部屋割りが書いてある。よく見ると、御嶽海や豪栄道など当時の大関だけが個室で、幕内以下の力士はみんな相部屋になっている。四人部屋に大きな力士が4人寝るなんて想像しただけでも暑そうだし、予可涼そうだ。キャンプ場に戻り、タエッセンをしていながら、防犯パトロールのおじさんが現れて、「クマが出るから注意してください」とまた云われる…。「わかりました」と返事をするが、注意しても襲われる時は襲われぬわ、と内心思しながら、18時、テントに入り、カレーを食べて20時には寝る。結局、クマは現れず…

【走行距離330km 獲得標高3,650m】

【走行時間2:11 平均速度15.1km/h】

【本日の余計】 #2,776

【ながた自然公園キャンプ場評価：41点】

サイトは坂の下で、料金は100の田んぼで、保冷剤も冷凍していく
れぬし、蚊もこないし、充電もできるので、合格点のキャンプ場であ
る。

●2024年6月11日(火) 33回田 晴れ 南20度
箕輪→辰野→善知鳥(うとう)峠→塩尻→松本



今日は、太平洋と日本海の分水嶺峠を越えて、塩尻経由松本まで約40キロの旅。6時に起きて、まず、朝露で濡れたテントやシートを干してから、ご飯を炊く。今日も晴れだが、予想最高気温が20°Cなので、暑くなりそうだ。出発前、炊事場に七色に輝



く気持ち悪いカメムシがいて、まだ寒いのか動きが鈍いので、木の枝にカメムシを載せて、遠くに行つてもうひとつ。の時にキャンプ場を出発



守り用に「八栄の美鈴」
と云う鈴を買つて、フロントバッグに
付ける。分水嶺へ向かつてゐるが、「国内唯
一レンガ造りの蔵造(ぞうぞう)川水路橋」



で諏訪湖に繋がる天竜川と別れ、旧伊那街道を走つていると、塙尻市に入ったところの小野宿に神社があつたので、寄つてみると、信州特有のあの御柱(おんばしら)が天に向かって立つてゐる。そして御朱印を頂くと、「**信濃国一之宮矢彦神社**」と書いてあり、一之宮の諏訪大社に次ぐ由緒ある神社なのである。



A photograph of a long, low brick arch bridge spanning a valley. The bridge has multiple arches and is surrounded by lush green vegetation. The sky is clear and blue.



ので、一応パチリ。しかし、案内標識を国道に駐車場を整備して、線路が望めるように展望台である。ここから→「分岐点」伊那谷と松本平の境田になる分水嶺のある善知鳥(うとう)峠に着くと、ひるがの高原の時回りよつに、公園があり、観光用に作ったと思われる、二股に分かれる水路がある。ひるがのは水路から水が流れただが、こじは、泉から湧き水が溢れ出てくる仕組みだ。当たり前だが、分水嶺を越えれば、基本、下りなので、松本までの220キロを1時間ちょっとで走破し、12時半、松本駅横の東横インに到着(や)。



A photograph of a small, shallow stream or waterfall feature. The water flows over large, mossy rocks into a pool. A paved walkway made of large stones leads towards a small waterfall. Two wooden signs with Japanese text are placed near the waterfall. The surrounding area is lush with greenery and trees.



【走行距離43km 獲得標高432m】
【走行時間2:23 平均速度18.0km/h】
[本日の旅] ¥14,995 (ホテル代¥7,125、宿代¥5,000他)

●2024年6月12日(水) 34日目 晴れ 南1m

松本→安曇野→明科(あかしな)→筑北



お~。今朝は、駅前にあつた「松本からあげセンター」で、長野名物の山賊焼き弁当をテイクアウトし、ホテルロビーで缶ビールと共に頂く。夜は、松本在住で大学サークル後輩の丁中氏がわざわざ駅まで来ててくれて、二人でサシ呑み。阪神は、じいじとバチャンスを逃し、オリックスローキーの完敗を喫す。

【走行距離43km 獲得標高432m】
【走行時間2:23 平均速度18.0km/h】



市へ行くには、三つのルートがあり、一番楽なのは、犀(さい)川沿いに下る北寄りルートだが、途中中にキャンプ場がないやうだし、急ぐ必要もないで、山越えにならぬが、キャン



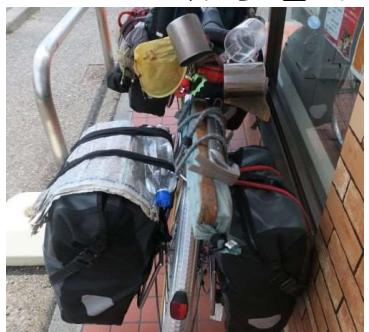
約70キロ先の豊野市へ行くには、三つのルートがあり、一番楽なのは、犀(さい)川沿いに下る北寄りルートだが、途中中にキャンプ場がないやうだし、急ぐ必要もないで、山越えにならぬが、キャン

えにならぬが、キャンプ場のあの真ん中ルートを選択し、三日かけて長野まで行くことになる。なので、今日も、安曇野、明科を通って、筑北村にあるキャンプ場まで約300キロの旅。遅めの10時、松本駅前にある「小澤征爾さん直筆の時計塔」の前で出発ジャンプを決めて、北に向かい、安曇野にある大王わさび農場に寄るが、日除けの黒いシートが邪魔をして、ワサビ畑は全く見えず…。建物内に入ると、収穫したばかりだらつか、生のわさびがいっぱい並んでいるが、小町のでも800円、大きいのは1,000円もある。一通り見て回ったのは、「お~」生わさびチュー~」で、なんと一本1





200円! しかし、いれだけ置いてあるという事は、一番売れているのだろう、と思いつく。



し、郷野でお世話になぬ一沢産業の丁部氏への手土産として買つことにある。観光地定番のソフトクリームがあり、「550円の大王フレミアムソフト」は、

生わさびが乗つからっていて、昔、わさびの名産地である伊田(いだ)、ジャンケンに勝つて食べたことがある、ソフツの甘さとわさびの辛さが絶妙にマッチしてメチャ美味かった記憶がある。農場を出で、明科のロッジで、ワンカップとのローチーズを買って、サイドバッグをふと見ると、ゴム紐で固定していたモンベルのボトルが無くなっている。走行中に振動で徐々にずれて、落ちてしまつたのだ。去年の3月に買つたばかりなのに、フチショック…。あやめとお魚



が描かれた明科町のマンホールで傷ついた心を癒し、キャンプ場のある筑北村へ向かう。気温30℃を超える暑さの中、意外と楽勝だった2



自転車はBBQハウスに避難させておいたし、テントもタープがあるので、全く問題なし。管理のおじさんとお話ししていたが、近くでクマが出たようで、キャンプ場内にも、「クマ出没注意」の看板があちこちにあるので、いつもはハンドルに付けっぱなしのクマ撃退スプレーをテント内に持ち込み、一緒に寝る。阪神はオリックスに昨日同様、0-4の完敗…。テルがチャンスに振ばかりでは…。溜息ばかり。

【走行距離37km 獲得標高374m】



00ミラップの矢越峠トンネルを越えて少し下ると、富蔵(とくら)ダム湖があり、14時、その湖畔にある「とくら



到着。ワンチ後、今日もJRソロりん



べ、管理棟に一番近いサイトに設置して、1キロほど離れた日帰り温泉「西条温泉」と「ヒリ」へ。キャンプ場に戻り、タエッセンをしてこねて、クロ、クロ、雷鳴が聞じてて、18時、テントへ入る頃、丁度、雨が降り出し、1時間ほど結構な雨が続くも、

【走行時間：210 平均速度 15.0km/h】

【本日の合計】￥6,498

【じぶんのわざわざあり公園キャンプ場評価：42点】

料金は1020円とお安く、電波、充電、保冷剤冷凍、雨除けなど、
ワンフェリー以外はほぼ完璧。ウォッシュルームは故障中だったが、虫は全く
出ず、管理人も親切であった。

2024年春のチャリキャンプわざわざ旅（NのJ）

野
田
俊

●2024年6月13日(木) 35日目 晴れ 北東1m
筑北→坂北→麻績(おみ)→聖(ひじり)高原



今日は、標高1000mにある聖高原のキャンプ場まで約15キロの短

きつそな坂を400mもアップしなければならないので、朝から気合が入る。いつもの朝食にキウイを加えて栄養を十分摂り、9時半、キヤ



やないので、田を合わぬ、会話もせずにすれ違つ。更に上つてゐると、「お仙の茶屋」と書いた蕎麦屋がポツンとあり、知らなかつたが、この道は善光寺へ参



ソプ場を出発。3
0分ほど走つていい
ると、銑鉄営業時
代に年2回はプレー
していくた懐かし
いゴルフ場の案内



看板が！標高が10000mほどあるので、ボルルが飛びやすい、15年ほど前のことだが、このじでーの面白ベストを出したので、一生忘れないコースだ。坂北と云う町の郵便局でお金を下ろした際、長野県のシャインマスカットを母や妹たちへ送ろうとしたが、受付開始が7月からとわからず、代わりにシャインゼリーを送る事になった。聖高原への坂を上つていると、前方から箱車を押す怪しいおじさんが近づいてきて、「日本一周中」の文字が見える。徒步で日本一周なんて普通じゃない





詔すゆための「善



よつだ。キャンプサイトは、屋根付き炊事場奥の急斜面で、階段状に平坦なサイトが並んでいる。高原らしく、キツツキのドリフト音や蝉声が聞こえる中、炊事場に自転車を置いたまま、一番近いサイトに設営して、無料のシャワーを浴びて、いつものように、18時にテントに入つて夕食タイム。下界は30.0℃を超える暑いらしいが、ここは標高1000mがあるので、テント内は涼しい。明日は、長野でも30.0℃になるらしいが、明日の宿は、キャンプ場じゃなくホテルなので、大丈夫。阪神は、西の好投と打線の組み換えが功を奏し、オリックスに5-0で完封勝ちを取める。



人々の往来が盛んで、このお茶屋が街道のオアシス的



存在だったりしない。上り始めて1時間半、意外にしなじくなく、聖高

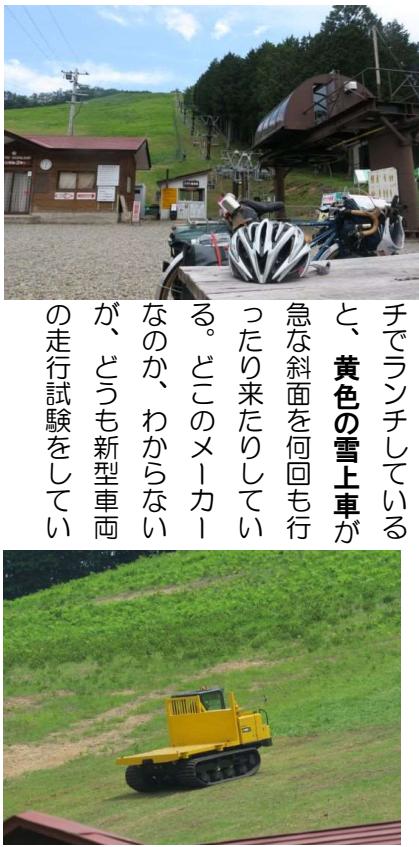
原に着くも、キャンプ場は更に上のスキー場にあるではないか。向とかリフト乗つ場まで行くと、夏なのにリフトが動いている。スカイライダーと木づる滑り台の上をスライダーに乗つて滑走するアクティビティがあり、こいつで山頂まで上り、乗り場まで滑つて来る仕組みらしい。吸付を済まし、リフト乗つ場近くのベンチでランチしている

と、黄色の雪上車が

【走行距離17km 獲得標高493m】
【走行時間1:45 平均速度95km/h】
【本日の会計】¥11,695

【聖高原キャンプ場評価：35点】

利用料金は1500円あるが、無料シャワー付きなのでまあまあ。屋根付き炊事場はあるものの、サイトは少し離れていて、トイレスはむつと離れている。電波はOKだが、充電、保冷剤、ランドリーはできない。サイト面には砂利が敷いてあるが、ペグは普通に刺さるし、水はけも良さないので、雨や夜露で濡れるが生より砂利の方がいいのかもしれない。



●2024年6月14日(金) 3の田田 晴れ 北13

聖高原→姨捨(おばすて)→千曲(ちくま)→篠ノ井→長野



今日せ、山を下り、千曲川沿いに北上して、長野まで約30キロの旅。天気もいいし、楽勝の一日である。そして、明日は、来週行なわれる町内自治会の一斉清掃に参加するべく、神戸へ一時帰宅しなけれどがないのだ。今日は、現役時代、お世話になつた長野在住の商社マン宅に、自転車を預かつてもうひとつになつてゐる。遅めの10時にキャンプ場を出て、聖湖まで下ると、ダナルドダッジ風の足漕きボートが並んでいた。



ウンヒルを楽しみ、千曲高原を過ぎると、JR姨捨(おばすて)駅があり、その先には姨捨の棚田がある。車は入れないが、自転車は行けそなので入るが、下り勾配が15%以上あり、ブレーキング力が弱いカンティ式ブレーキでは、重装備だし、フルブレーキングしてもなかなか減速せず、カーブで棚田に突っ込むところであったが、足ブレーキで何とか回避する!。棚田の眼下には、千曲川と善光寺平と呼ばれる広大な盆地が望めて良かつたが、危ないとこりであった…。千曲川の河川敷を走っていると、川を斜めに横断する北陸新幹線のメチャ長い鉄橋が見えてくる。5年ほど前だらうか、この千曲川が線状降水帯の発生で堤防が決壊してしまい、新幹線の車両基地が



でいて、桟橋にさは、日傘を挿しながら、釣りを楽しむおじさんが多い。へい鮎が釣れるついで、1500円払えば、一日いてもいいらしい。

ここから長野市内で28キロの標識を確認して、豪快なダ

水没した映像が田に浮かぶ

。長野市の南に位置する篠ノ井の町は、鉄道営業時代、仕事で何度も訪れた場所で、当時、お世話になつたW辺商事の前を通過する。今日、お世話になるT

んで、T部さんと一緒に長野駅前の東横インまで送つてやうついで。そして、夜は、二人でサシ番みしながり、樂しい時間を過しましたが、阪神は、強いソフトバンクに〇一二の完敗…。

【走行距離280km 獲得標高131m】

【走行時間1:39 平均速度17.1km/h】

【本日の合計】¥13,569（ホテル代¥6,840、HNB代¥3,590）

●2024年6月15日(土) 37日目 晴れ 南西33

長野→JR→新幹線→市バス→神戸北町

今日は、身軽になった体で、JRの自宅まで帰る鉄道旅。の時に起きて、洗濯し終わつた服などをパッキングしたバッグ4個を、ゴルフに行く途中に寄つてくれたT部さんに預けて、の時半、東横インについて珍しい最上階にあるレストランへ行くも、高校生の男女がいっぱい、メチャ並んでいた。一回、並むが、30分ぐらいかかるやうなので、出直すことにして、こづねーちゃんに聞くと、同道の全国大会がある、とのこと。他の東横インよりも、おかずの種類が多く、信州そばもあるので、いいのだが、大団体客がいる場合は、通常より30分早めにオープンするなどの対応を取つて欲しいものである。10時発の特急しなの



てみると、偶然、モンベルストアを見つけて、先



日、落としてしまつたボトルを改めて買つ。前のは、ソフトタイプだったが、ポリ臭があるので、今回ばかりはハードボトルにする。一部やんのおひちや、住居兼奥様の美容院になつていて、着いてみると、地中海風の洒落た感じの建物で、フカヒツ

くら。奥さんもスラっとした美人で、美容院のママって感じだ。まずは自転車だけを置かしてもらひ、バッタは車に積み込



で、出直すことにして、こづねーちゃんに聞くと、同道の全国大会がある、とのこと。他の東横インよりも、おかずの種類が多く、信州そばもあるので、いいのだが、大団体客がいる場合は、通常より30分早めにオープンするなどの対応を取つて欲しいものである。10時発の特急しなの



朝から寒風が吹き、終点の新潟方面まで3時間かかるので、新潟駅構内で覗つけた、駒ヶ根の明治亭「ソースカツ丼弁当」を三つ購入。内二個はいつかのおみやげ用である。新潟方面で東海道新幹線、新神戸で市バスに乗り換えて、15時、新潟に着く。阪神は、ソフテバンクの近藤に初回3万円を打たれ、21～の完敗…。

【本日の旅費】￥22,892（交通費￥14,980、土産￥5,708 他）

●2024年6月24日（月） 3の日 晴れ 北西4m

神戸北約→市バス→新神戸→JR→長野

今日が一斉清掃の日であったが、函で中止となり、一時帰宅が無駄に終わる…。順延日は一週間後だが、元々、今日が再出発の予定だったので、嫁さんに惜しまれながら、家を出る。今日は、長野の一部さん宅に預け



【本日の旅費】￥24,696（交通費￥14,550、ホテル￥6,840 他）

●2024年6月24日（月） 3の日 晴れ 北西4m
長野→豊野→飯山→妙高→上越



今日は、佐渡ヶ島へアプローチするべく、まずは真っすぐに北上して、妙高経由上越まで約70キロの旅。昨日の雨は朝方には止み、風は若干アゲインストで、気温が30℃を超えていたが、函よりはましだかる。距離があるのに、距離があるのに、早めの8時半にホテル前で、セルフトайマーで出発ジャンプを撮りうとしていたら、丁度、おねえちゃんが横切る！

ていた自転車とバッグを受け取り、駅前のホテルまで自走する予定であつたが、長野も雨が降つてるので、一部さんの車に全部詰め込み、ホテルまで運んでもらう。結局、一部さんは、近いとはこべ、ホテルまで何度も来てもらひ、感謝しかない。先週、おみやげでアゼントした大王わさび農場の「生おろしわさびチュー／＼」が、美味しいたりしてるので、それが、せめてもの救いである。



長野の一部さん宅に預けていた自転車とバッグを受け取り、駅前のホテルまで自走する予定であつたが、長野も雨が降つてるので、一部さんの車に全部詰め込み、ホテルまで運んでもらう。結局、一部さんは、近いとはこべ、ホテルまで何度も来てもらひ、感謝しかない。先週、おみやげでアゼントした大王わさび農場の「生おろしわさびチュー／＼」が、美味しいたりしてるので、それが、せめてもの救いである。





結構な水位で茶色に濁っている!以前、群馬の前橋で見た利根川も、やばかったが、この川もやばい。飯山の町中に入ると、雪ん子がスキ一を履いている可愛いマンホールがあり、新幹線が止まるJR飯山駅の近くには、旧飯山駅ホームから移設された「七福の鐘」があ



撮り直すや、いっち
の方が面白いので採
用。群馬県の高崎と
新潟の上越市を結ぶ
国道18号線を避け
て、千曲川に近い道
を走っていると、二
週間ほど前に飯田の町で見た時よりも、プチ
大きくなり、赤味を帯びてきたりん【がたく
さん生つて】いる。水没した新幹線車両基地の



川沿い】下つてい
と、「トキの国」新潟
県の標識が！普通、
岐が県境になるのだ
が、長野県と新潟県の
間で、昔、領土を争う
揉め事があり、長野側
が勝ち。ここが県境に
なったのだ。旧新



消失していた明治45年の御開帳時、善光寺前に露座していたのが、この仁王像で、その後、なぜか解体され、いくつかの寺院を経て、1つ年前、ここに作られた仁王門に移設され、寺の町飯山のシンボルになってしまった。この仁王像は、飯山の町を過ぎ、300㍍アップの坂を越え、



る。一度訪れると一つの願いが叶い、七度で七つの願いが叶うらしいが、今、かなえたい願いは特になないので、鐘撞きはせず。その隣には、なぜか門だけがあり、黒光りした仁王像が左右に一体ずつあり、こちらを睨んでゐる。善光寺の仁王門が



井の田を過ぐ、14時、田畠の田にあら新幹線が止まる。JR上越妙高駅に着く。普通列車が見えた。妙高はねつまワイン（田信越本線）は、サイクリルトレインなので、こずれ利用したるものだ。駅前の東横インにてショックイン、「ハンチせ、アシハリイヒジヤーマンポートサウダ」、「風味爽快新潟限定ビール」。その前に、田口の直江津港から佐渡ヶ島行セイヨウにて、佐護汽船へ確認の電話をするが、なんと明日は全便欠航が決まっているとのこと。低気圧通過による強風が予想されたため、「新潟側からのハマニーは運航予定なし」、新潟から乗船してしまったので、「新潟側からのハマニーは運航予定なし」と云われた。

…あの時は、宿の関係もあり、新潟までJR輪行して向こう渡ったが、今回も必要なので、待つことに。しかし、2回連続欠航になれば、直江津の佐渡汽船港は鬼門かわしねど…。

【走行距離〇：23 獲得標高4,000 m】

【走行時間〇：10 平均速度 17.4km/h】

【本日の旅費】¥8,552（ホテル代¥6,270 合む）

●NOV24年10月26日(火) 40田口 曇り

朝から秒速80 mの強風が

吹いていて、海上はもつ

じ強いだらうから、欠航

は納得せざるを得ない。

今日は走らないが、胃拡

張気味なので、しっかりと



食べて、午前中は、大谷の試合を観ながら旅レポの執筆活動。買ひ出しがため、外へ出ぬじ、畳つてこるのじ、意外に蒸し暑く、午後は、ランチを済ましてから風呂して、夜は、阪神の試合を観ながら麻婆ナス。阪神は、オ木が好投するも、チャンスに梅野と大山が打てず、中田じ〇一で負けてしまい、貯金がーに減る…。

【走行距離〇：3 km 獲得標高43 m】

【本日の旅費】¥8,196（ホテル代¥6,270 合む）

●NOV24年10月26日(水) 41田口 晴れ 北西〇：3
上越→高田→直江津港→セイヨウ→佐渡ヶ島小木(おぎ)





渡汽船のりばに着く
と、大型フェリーの舵
と思われる、メチャで
かい赤いモニコメンツ
が立っている。直江津
港のシンボルだろう
か。出航時刻は2時間
半後の14時なので、



今日は、15キロ先の直江津港まで自走して、佐渡汽船のフェリーで佐渡ヶ島の小木港へ渡り、その中にある宿まで。少し心配していた今日のフェリーは、今のところ運航予定なので、ひと安心。昨日より少し多めの朝食を頂き、10時過ぎにホテルを出発し、県道の3号の上越新潟線に入ると、「日本スキー発祥記念館」の看板がある。山の上にあるので、諦めて、直江津の町へ。JR直江津駅前で、6年前お世話になつた旅館「附船屋」を見つけ、フェリー乗り越えて、まだやつてそうなのでホッとする。11時半過ぎ、6年前に行けなかつた直江津港の佐

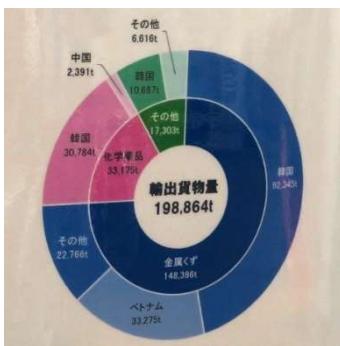


今日は、15キロ先の直江津港まで自走して、佐渡汽船のフェリーで佐渡ヶ島の小木港へ渡り、その中にある宿まで。少し心配していた今日のフェリーは、今のところ運航予定なので、ひと安心。昨日より少し多めの朝食を頂き、10時過ぎにホテルを出発し、県道の3号の上越新潟線に入ると、「日本スキー発



ターミナルの最上階にある展示室兼休憩フロアで、買つておいたのり弁と缶ビールで、ランチタイム。佐渡

タルが、



円グラフを見ると、75%が金属くずで、新潟県はスクラップ輸出が盛んだったことを思い出す。この辺りは豪雪地帯なので、最深積雪量の棒グラフもあり、昭和61年が戦後最も積も





JNNがよく見える。小さい船舶だから、国内向けだらうか、銑鉄もいろんな船で横持ちしていたので、懐かしい。**直江津港から佐渡の小木港へ渡る航路**は、国道350の町線になつていて、両津港経由新潟港まで繋がつてゐる。JNのような海上国道は、全国に20箇所ほどあり、一番長いのは、毎年、お世話になつてゐる鹿児島から奄美大島を経由して沖縄本島まで繋ぐらの町線である。10時半過ぎ、小木港に着岸し、下船すると、港に、あるの佐渡名物「たらい船」が数珠つなぎのように浮いてゐる。切符売り場を見ると、大人100円とあり、ワーズナフ

つた年で、確かに、あの頃は。福井の方も毎年、大雪で、大変だった気がする。出港の10分前、佐渡汽船の「四代目」がね丸に乗船し、新潟港を見渡すと、岸壁に茶色や銀色のスクランプ(金属くず)が山のよつに積まれており、それらをワーンで貨物船に載せると



つた年で、確かに、あの頃は。福井の方も毎年、大雪で、大変だった気がする。出港の10分前、佐渡汽船の「四代目」がね丸に乗船し、新潟港を見渡すと、岸壁に茶色や銀色のスクランプ(金属くず)が山のよつに積まれており、それらをワーンで貨物船に載せると



転車を置いてぶらぶらされ、室内も意外に綺麗で埃もなく、プチ安心する。ゲストハウスは、相部屋になつたらしいので、基本、泊まつたくないが、今日は、自分だけなので、プチワッキー。夕食は麻婆豆腐を作つて、阪神戦を観ながら、20時に寝る。阪神は、中日と1-1-1の引き分け…。

【走行距離17km 獲得標高600m】

【走行時間1:10 平均速度14.7km/h】
【本日の合計】¥12,650 (宿代¥4,000、フード¥5,530、市営バス¥1,500 他)



ルな料金に「プチびっくり。港から近い今日の宿、ゲストハウス「スリー」にあがむり、ボロ屋で、目を疑つたが、ここに間違いない…しかも、自転車を置くスペースもない…宿の人はまだおらず、30分ほど待たされて、やつと中へ入ると、土間があり、そこには自転車を置いてぶらぶらされ、室内も意外に綺麗で埃もなく、プチ安心する。ゲストハウスは、相部屋になつたらしいので、基本、泊まつたくないが、今日は、自分だけなので、プチワッキー。夕食は麻婆豆腐を作つて、阪神戦を観ながら、20時に寝る。阪神は、中日と1-1-1の引き分け…。



2024年春のチャリキャンプひと旅（その八）

野田 俊

● 2024年6月27日（木） 420日目 晴れ 東2m
小木→赤泊→松ヶ崎→水津



今日から4日かけて佐渡ヶ島をめぐる一周ある計画を立てて、その初日の今日が、島の南端に位置する小木からの海岸線を北上する約45キロの旅。高低図を見る

と、多少のアップダウンはあるものの、ほぼ平坦なので、佐渡にしては優しい道である。

6時過ぎて起きて、メシを炊き、



建てられていく。宿のおねえさんが、この先にドーナツ屋さんがおり、「ナレのHILLSTアガウマ」と云ふが、そのお店はお休み…エビせダメだが、ブチ残念。島の外周をなぞっている



いつもの朝食を済まして、の時過ぎ、宿のお姉さんと一緒に出発ジャンプを決め、小木港に寄ると、マンホールにも描かれている佐渡名物「たらい船」が営業しており、船頭さんと観光客一人が

セッ�トなり、海に浮いている一波が殆どない港内を30分ほど廻りだけだろうが、楽しかった。天候は晴れ、風は微風、海の遠くには内地の山並みがうつすり見えている。紫色の紫陽花も満開で爽快な気分だ。1時間ほど走り、赤泊といつ港にて江戸時代と思われる船が



この県道419号

は、国内の都道府
県道の中で一番長
く、170キロも

あります。北海
道には、もっと長
い道道がありそつ
たが…。県道にし
ては、今時珍しい

素掘りのトンネル
があり、右には「高波による落石注意」の標識、左には「密漁禁止」
の看板が一高波で浜の石が巻き上げられた、海水と一緒に車に飛んで
いたなんて信じられないが、日本海の大荒波なりあり得るのだな
い。自然にあたるにあってついに松の木が一本だけ生えていて、



ねじ、貝や魚を捕らうとしてダイバー
が一密漁である。1時間ほどかかると、30才
ぐらいだらうか、ここからやんが戻って来たの
で、聞くと、「何も獲れなかつた」とのい
う。密漁の話はしなかつたが、やつせり、こ
ういう人がいるんだと、チビチビ。結
構、汗をかいだが、300円のシャワーは故
障中なので、濡れ半ぬいで体拭ぐ。電波
も一本だけで、ハントに入ると、全く入らな
くなつて、久しぶりにアナルゴのハジカを聴き
ながら、椎名誠さんの本を読む。阪神は、中四国80-1で勝つも、II
スが相変わらず多く…。大谷さんは、この中のホームランを打た、打
率も、322%。デジャースもホワイティシクスに4-0で快勝して、
貯金が200に到達。



【走行距離 47km 獲得標高266m】
【走行時間 2:53 台均速度 16.2km/h】
【本日の会計】¥1,501

【赤亀・風島公園キャンプ場評価：2の塙】

無料で東屋があり、サイド面が再生なのもいいが、電波が圏外なのは
一番困る。管理人がおりず、保冷剤、充電、ワンドリーなどがどちら
かのど、評価は悪いが、電波を入れれば、まあまあのキャンプ場。

●2024年4月28日(金) 43回目 曜日 北東23
水津→両津→秦野→佐和田



3時前、今日のキャンプ場「赤亀・
風島公園」に着く
と、先客がいる
も、ひどがいる気
配はない。海を見



今日は、佐渡の中心部である画津の町を通過して西側にあるキャンプ場まで約40キロの旅。多少のアップダウンはあるが、峠越えはない、風向きも東からのツオローなので、楽勝の一日になつた。9時こまつの中、出発ジャンプを決めて、10分ほど走り、左側の田んぼを見てこたり、トキらしき鳥が飛来！停止してカメラをズームアッ



プするひ、確かにトキである。野生のトキを見つけるチャンスはなかなかないので、

いきなりチク感動するも、結局、今回の佐渡で遭遇できたのは、この時だけであつた…。画津の町に



に入る手前に、「トキとの共生ルール」看板があり、①静かに見守る、②餌付けをしない、③巣に近づかない、などと書いてある。当然のことだが、せりない観光客が多いのだなう…と思う。画津のマンホールには、名物な

か、鳥賊が描かれていたが、「やつぱり佐渡はトキでしょー」とひとり

思う。11時過ぎ、内陸部にある田帰温泉「はたの温泉」に着つて、10分の汚れを落とし、サーフィンマップルに載つていた「ボリューム」がついて上質の肉がうまい」とんかつ屋「中堀」で、アヒの丸の力



ツ丸をテイクアットして、今田の面「鍛田キャンプ」で、頑ぐも、ボリュームは少なめ、豚肉も普通で話が違う…。

キャンプ場の管理人は、SNS情報では、「偏屈で怒りっぽいおじさ



ん」とあひたのド、じじいにこたが、「かわくや雨が降る

から、上の部屋に泊まつたりここ」と、

管理棟にある会議室みたいな部屋に案内してくれば、普通に親切で、ホシとある。



中にあつ、眠れなかつたが、上の会議室にマサト

をセシットして寝るにいたる。ワンチ後、6年

前のひそひ、みんなで泊まつた宿「かね長旅

館」が近いので、行ってみると、あだりやんと残つていて、アチ嬉し。結局、夕方に降る予報だった雨は全く降りず、外でも限かつたが、優しいおじさん感謝して20時に寝る。阪神の試合は、雨天中止。



【走行距離40km 獲得標高2150m】

【走行時間：20 分 平均速度 16.9km/h】

【本日の会計】¥4,352

【難田キャンプ場料金：330円】

利用料金→200円、シャワー料金200円、充電や保冷剤は不

可、電波は2本でサニサニ。田の前は綺麗な砂浜が広がつていい、眺めはこいのだが…。

●2024年6月20日(土) 44日目 晴れ 南西3m
佐和田→相川→大野亀→二つ亀



今日は、島の西岸沿いに北上するのだが、60キロ先の北端にしかキャンプ場がない、しかも100m級のアップがいくつもある、特に後半はしんどいもので、ハーデな一日になりそうだ…でも、きっと北風だったのが南向きに変わったのはアチラツキー。早めの5時過ぎに起床し、こつもの朝食を済まして、7時半、近くの撮影スポット「あぬやの桟橋」で出発ジャンプを決めて、こわばく！。相川と云う町に入る



海岸」と呼ばれ、南側は緩やかな海岸段丘、北側は奇岩や洞門が多い急峻な斜面になっていて、尖閣(せんかく)湾は柱状節理で有名らしい。尖閣と云えば、中国との領土問題を思い浮かぶが、全く関係ないようだ。尖閣か

れ、いつもながら、「佐渡金山」と「大佐渡スカイライン」の標識があり、超八度だった激坂を思い出す…海岸線だが、最初の坂をハーハー言いながら上つていらぬと、電動自転車野郎に無言で抜かれ、いつかうだが、何故か腹が立つ。それも、途中で抜き返したりしげ、わつ一回無言で抜かれる…。「じょにわかば」とか「お先に」とか、ひと言声掛けしてくれただけで、気分が全然違つのに、と感心。相川からキャンプ場のある二つ亀までの約50キロは、「名勝佐渡海岸



と、6年前に行つた「佐渡金山」と「大佐渡スカイライン」の標識があり、超八度だった激坂を思い出す…海岸線だが、最初の坂をハーハー言いながら上つていらぬと、電動自転車野郎に無言で抜かれ、いつかうだが、何故か腹が立つ。それも、途中で抜き返したりしげ、わつ一回無言で抜かれる…。「じょにわかば」とか「お先に」とか、ひと言声掛けしてくれただけで、気分が全然違つのに、と感心。相川からキャンプ場のある二つ亀までの約50キロは、「名勝佐渡海岸



く、鉄人レースと呼ばれ、スマム4キロ、自転車190キロ、そしてランは42キロのフルマラソンで行なわれ、完走者にはアストロマンの称号が与えられる。知らなかつたが、スマムは、今朝まで居たキャンプ場から近い佐和田の海水浴場で、自転車はそこからスタートして、時計回りに島をほぼ一周するコースである。綺麗な曲線美を描く「ひとつない美しい砂浜を眺めながら、のんびり走つていらぬ」と。確かに、左上から「N」の形をしていろ。調べてみると、鉄人レースと云われるロングライスタンスは、佐渡以外に、洞爺湖、鳥取の皆生、五島、宮古島で行なわれており、全て自転



らの分ほど進むと、50キロの標識があり、「アストロマン」と書いてある。佐渡のトライアスロンは、オリンピックティースタジアムではな

1



車で行ったことが
あるので、プチび
っくり。全コース
を走ったわけじゃ
ないが、完走した
気分になる。乙坂
の右上部にあたる
トンネルの入り口
までの〇三のアッ
プを必死に上の

と、やつれ走ってきた海岸線が綺麗に見える。トンネルを抜けても上
りが続くが、海の色は紺色からエメラルド色に変わり、佐渡ブルーが
映える。折角上ったのに、あた海岸まで下ると、「**大野亀**」と云う名勝
海原海岸を象徴する大きな岩が見えてく

る。遊歩道があ
り、頂上まで行け
るらしいが、もう
13時なので、ス
ルーして、キャン
プ場のある「**二
亀**」へ。また上り
が始まると、登り切
ると、その二つ亀



らしき大野亀より小さ
い島と二つか島が見え
てへる。13時、やつ
と二つ亀ビューホテル
に着き、キャンプ場は
近いものの、なんと急
な下り坂の下にあり、
なんやねん、と思い
ながらキャンプ場に着
き、ビールを飲みながら、大谷さんの試合を

無料アベマで観ながらワソチタイム。キャンプサイトは広くていいの
だが、微妙に傾斜しており、一番平らやつな炊事場の前に設営。まだ
6月なのに蒸し暑くて、屋間の体感温度は30度以上あり、早くホテル
のお風呂に入りたか
つたが、キャンパー
は18時まで入れな
いと云われている。
リゾート系ならまだ
わかるが、こんな田
舎のホテルなのに、
と思う。18時半、
テントに入り、相川
のローソンで買つて



おいた好み焼きとペスタサラダを頂く。エッセンしたかったが、朝早くてス

パーが開いて

なかつたので、仕方がない。1

9時過ぎだらうか、テントの外

から声が聞こえ

てきし、出でみ



【二つ亀キャンプ場評価：3.3点】

料金は1,200円、屋根付き炊事棟やオッシュコがあり、インフレ的にはまあまあ。お風呂が隣接のホテルにあり、電波も一本で回りとか入るが、充電と保冷剤は不可。ホテルからキャンプ場まで勾配1-5%の急な下り坂があり、行きはいいが、帰りはしづらいので、アクセスは悪い。海が近いのに、蚊も多い。でも、キャンプ場からの眺めはよく、夕陽も朝日も見られるのは珍しい。

●2024年6月30日(日) 45日目 曜日 南北
二つ亀→両津港→ツヒコ→新潟港→新潟古町



しかし、今田が、予想通り、しゃべり合はなかったが、好天に感謝され、青い海とオレンジの落陽が見られた、ここ田であった。

【走行距離62km 獲得標高670m】

【本日の会計】¥4,637

ねむ、ソロキャンペーの一か八人がこむ、「ハイターかマッチを貸してほし」といふ。もうか、「素人じこく、着火剤さえあれば、火が着く」と思つて、向ふに、「可燃物なので、滅多に使わないが、バーナーとガスを貸してあげる。丁度、夕陽が沈みかけており、にちやんのおかげで、綺麗な夕焼け映え写真が撮れて、結果、プロラッキー。阪神は伊藤の乱調でヤクルト」——の完敗……今日を振り返り、N坂からの一キロは激坂続きで、案の定、最後の上りと寝る前に、太ももが轟るか、シムの一番に助かるれた。8時半、相川の口一ソンに寄った際、レーサーのライダーがいて聞くと、島の外周200キロを今田一人で走る。アロイカ、アロイチ的」「サブイチ」である。「もうやめる」と内心思こながら見送る。



は全く違うグラードーションに富んだ幻想的な光景が撮れる。まさに早起きは三文の徳である。予定通り、5時に朝陽をバックに出発写真を撮り、勾配15%の激坂を押して上り、アップダウンが続く道を走つてこのと、田んぼの近くにトキを発見する。しかし、よく見ると偽物…何のために、と思ったが、結局、今回も野生のトキに出会えたのは1回だけであった。前半の15キロほど、結構ハードなアップダウンに苦労するが、後半は平坦になり、7時半には

近づいたので、時間過ぎの第2便にある。なので、4時に起きて、朝食を作り、テントを畳み、5時にはキャンプ場を出発していく。4時にテントを出ると、丁度、朝焼けが始まっている、**夕焼け**と



今田は、佐渡最大の町、両津までの約35キロを走り、フェリーで新潟へ渡る旅。普普通ら、13時前に出港する第3便でいいのだが、雨雲が



。雨雲レーダーを見ると、大きな雨雲が島嶼に向っており、間一髪ヤーチ。



西津港に着き、フレリーター＝ナルのフリースペースで朝食タイム。風まで走らないので、朝から缶バーベルを頂く。の前に乗船し、今でも雨が降り続くな佐渡ヶ島をあとにする。



出航すると、カモメがいっぱい飛んでおり、ドッキでは、スナック菓子をカモメに与える人たちがいる…最近は、野生の鳥を餌付けするよ



うな行為を見かけなくなっていたのに、プチ残念である。2時間半の航行で新潟港に入るが、また多くのカモメが船の周りを飛んでいる。港には、何回もお世話になっている新日本海フェリーが停泊していたので、写真を撮



てていたので、写真を撮

り、カモメがフレーム内に入っている。…新潟と函館を結ぶ船はフェリーだけではなく高速船も運航している。

が、函館港でも見かけた時は、プチびっくり。フェリーのあとから出港したせんがが、フェリーより先に新潟港に着き、もう函館へ向けて船を出たのである。所要時間はフェリーの2時間半に対しても1時間と早いが、運賃はフェリーの3千円に



対して千円もあるので、車や自転車がない人は、どちらを選ぶのだろうか、考えものである。12時前、直江津→小木間



を結ぶフェリーの倍以上ありそうな佐渡汽船の「じまわ丸」を下船すると、ポンポンと雨が降っているが、合羽を着るほどではない。屋根付き歩道をゆっくり走っていると、「イガタのセーラメント」を発見するが、「ホワッソ」の意味がよくわからない…。港から15分で、東横イン新潟古町店に着き、チェックインする際、「佐渡へ行った旅行者には5千円の商品券が発行される」とのことだ、メチャ得した気分になる。「やど旅得パック」と云って、佐渡へ渡る前後に新潟市内の宿泊券が貰れるらしい。スーパーでも利用できるので、ワンチは、ちょっと贅沢に、海鮮巻き寿司にする。朝の話だが、

岸壁で乗船待ちしている時、カワサキの二輪車と云う緑色のバイクのおじさんがいたので、聞くと、買ったばかりで排気量が1000cc、150万円もした、とのこ



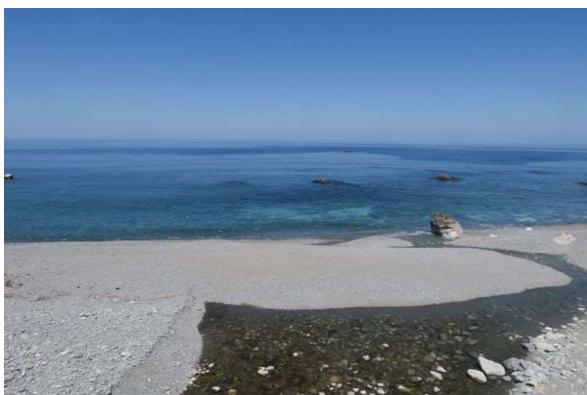
ヒド、アホのハマリ。

【走行距離300km 獲得標高240m】

【走行時間：10 尺均速度 16.0km/h】

【本日の旅費】¥11,453（ホテル代¥5,985、Hマーク
¥5,180）

佐渡逝世一周年の4日間を振り返る。懶れていたほどアップダウンは多いながら天候にも恵まれて、樂しまず走り切れた満足感がある。初日は雨に泊まつたが、あの三日はヤンツ場に泊まれて良かつたし、トキやんじや玉奈やたん、も残つた。今回の旅で、まだ走れてこないうち木瀬から佐和田まで西回りのルートだが、これは来年の課題として取っておこう。



2024年春のチャリキャンプひとり旅（その九）

野田俊



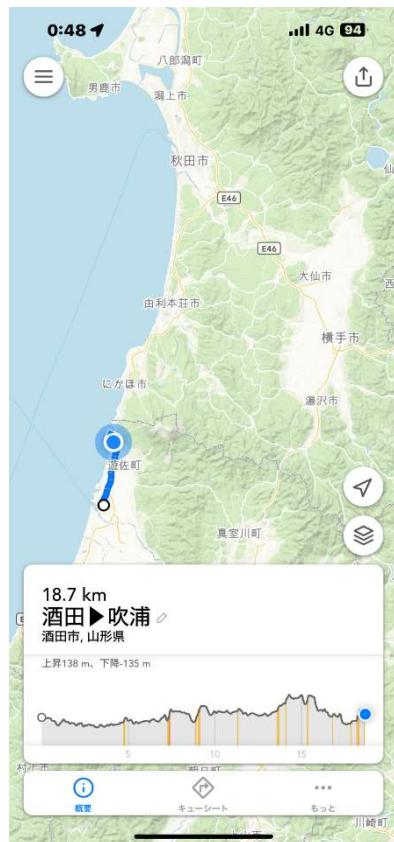
今日は、元々、雨予報だったのですが、いよいよ新潟の東横インに連泊することになりました。5時に起きて、大谷さんの対ジャイアンツ戦を観るも、5打数ノーヒットでチームも4-10のボロ負け…筆者が旅の途中にテレビでフル観戦するチャンスがあると、

いといふなし…。朝食は、米びうの新潟だから、おにぎりがメインで、東横インでは珍しく、サラダやおかずがなく、物足りない…。イマイチの朝食を済まし、新潟駅のお土産売り場へ行き、クーポン券を使って新潟名物「笛だん」などを見買い、お得なレッパーでうかへ送り、映画館で、娘が心臓病で人工心臓を作らうとする父を演じた大泉洋の「ティアファミリー」を観て、何回も泣いてしまう。



【走行距離】
【運転時間】
【走行距離】
【本日の料金】
●2024年7月2日(火) 4→田田 雲り晴れ
新潟駅→JR→酒田駅→遊佐(ゆざわ)→吹浦(ふくら)
西4丁目

今日は、山形県の酒田まで輸行して、NOキロ先にあるキャンプ場まで走る旅。本来なら、天気もいいし、ここ新潟から走るべきなのだが、8年前、トンネルでひき逃げされた山形県との県境辺りまで走ったことがある、途中まではいい道もあるのだが、県境辺りは交通量の多い国道の号線しかなく、トンネルも多いので、ワープするといふ。なので、11時前、新潟駅発の特急いなほ3号にて



乗車して、北へ。酒田には13時過ぎに着くので、ランチは、新潟駅で買った「三新軒」の「さけの焼き漬け弁当」を



頂く。シャケも旨いが、筋子と缶詰のパイナップルがいい。途中、通過する村上駅では、ひき逃げ事件の時、**事故当日**と



犯人逮捕後の車両検証でお世話になつた村上警察署の事を思い出す。事故当日、むり少しくらいで新潟県だったので、事故現場がまだ山形県側だったので、自転車と一緒にパートカーで30キロ手前で村上警察署まで戻されたこと、犯人逮捕後「車に付いた傷と自転車を照合するから、持つて来て」と云われたこと、犯人が任意保険に入つておらず、「家族と直接会話して」と云われたことなど、今となっては懐かしい。1

4時、酒田駅を出発



まづ…何とか使えるむ、不安な状態なので、アマゾンで購入して秋田のホテルに届くまでの手配する。いざ遊佐(ゆざわ)町は、鳥海山の西側に位置し、海岸なのに湧き水が出るほど、清水に恵まれており、温泉もある。キャンプ場から徒歩数分のところにも、鳥海温泉「あほん西浜」があり、連泊するには最適の場所であ

し、昔、銛鉄を置いていた酒田港の標識や雲で隠れた鳥海山を見ながら、麓にあるキャンプ場へ。

明日から、また雨なので、一泊分の利用料2000円を払い、炊事場の近くに設営するむ、タープ



を立てる際、固定する紐に足を引っかけてしまひ、ポールが曲がってしまつ…何とか使えるむ、不安な状態なので、アマゾンで購入して秋田のホテルに届くまでの手配する。いざ遊佐(ゆざわ)町は、鳥海山の西側に位置し、海岸なのに湧き水が出るほど、清水に恵まれており、温泉もある。キャンプ場から徒歩数分のところにも、鳥海温泉「あほん西浜」があり、連泊するには最適の場所であ



る。阪神は、あ木の踏み張りで、広島に逆戻り〇回三一〇回とか勝ち、貯金一〇…。

【走行距離〇km 獲得標高一m】

【走行時間一：二〇 平均速度 17.5km/h】

【本日の収支】￥17,935（つづき￥4,840、ボーナス￥3,880、カジルカバ一￥3,680 合計）

【温泉キャンプ場料金：450円】

インフリームは元々キャンプ場で、なごのせわホッシコボウ。温泉が近くにあります、宿泊料金は一泊二食付で、朝食、電波、保冷剤が〇円で、用意つな。

●2024年7月3日（水） 4の日 まつり 南西〇m

新潟は蒸し暑かったが、いじめで来ると涼しく、関西や関東では〇〇℃位穏やかなので、気分爽快だ。の時半頃だらうか、こつもの朝食を食

べてうぬび、教師に引率された小学生たちが炊事場前を通過してくるので、聞へど、これがからカヌー

体験をするとのこと。湖が一〇時頃から盛り上がりなのだが、10時に町へ向へ途



中、橋の上にいたり
カヌーに乗ら始め
てこの子供たちを

発見。ワーワーキ
ヤーキャー楽しそ
うである。買ふ出
しを済めしと、日
帰の温泉へ行く

と、温泉のおかあ
さんたが「どうわ」

ヒ、ヒツを2個くれた。廿二十九歳。ハーフサは、隣接の「ひつみ亭」で870円のアジハライ定食と生ビールを頂いて、午後は、画廊、旅レポ執筆、そしてヤール系の茶色温泉に入り、一時頃、キャンプ場へ戻る。阪神は、テルがタイマーHマーをあらむ、テルのソロ一

つで、広島に二一で辛勝。大谷ひよせ、3投打2打点、2ヒートロー

ドランもおかロバックスに〇一の并勝。

【走行距離〇km 獲得標高〇m】

【走行時間〇：一〇 平均速度 16.95km/h】

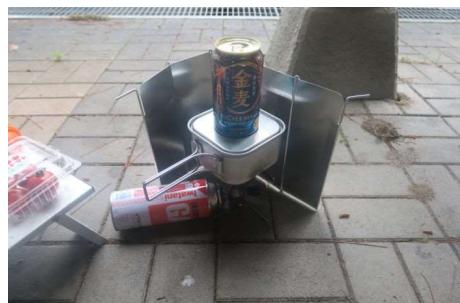
【本日の収支】￥4,709

●2024年7月4日（木） 4の日 まつり 南西〇m

今日は、北上して秋田県の庄賀保（じかほ）か由利本荘のキャンプ場まで走り回ってでしたが、の時半に起きたが、天気予報はまつり降水量率40%だが、レーダーに映りなご霧雨が降ってこねし、連泊に



が、一口羊羹と柿。



とつて便利な温泉もあるし、今日や、リラックス
泊まるところがある。ここは最高気温廿五度。
だが、静岡では三九度にならひしこ…まだ一
月上旬なのに今年も異常気象である。」飯を
うまく炊く口上せ、沸騰して水がじぼれ始め
たら、弱火にして、水がじぼれないよう蓋に
缶ヒールの重しを載せて、グシグシしなくな
るまで、待つことだが、風があると、弱火が

安定しないため、今回の旅から新たに買ったアルミ製の風除け板を使用している。これま



昨日はびわ、今日は羊羹、なんていい人たち、いい町なんだう、と
チク感激！。12時頃になると、朝湯に入つていた地元のお母さん達
が、みんな横になつて寝ていて、こには地元の人たちの憩いの場にな
つてゐるのだろうと、ほんわかした気持ちになる。ランチは、1100
円の焼肉定食を頂き、昨日同様、風寢、旅しボ作業、そして、また温
泉に入り、1~2時過ぎにキャンプ場へ戻る。阪神は、梅野のミスが続
き、広島に5-1で惜敗…大谷さんも1安打だけで、Dバックスに大
敗を喫す。



ンプ場の管理棟前で出発ジャンプを決めて、
1キロも離れていない吹浦駅へ。輪行の準備

●2024年7月5日(金) 50日目 翻り 南西2日
キャンプ場→吹浦(ふくら)駅→JR→秋田駅→ホテル

【走行距離2km 獲得標高30m】
【走行時間0:07 平均速度17.1km/h】





を終えて、吹浦郵便局で田を付けていた「**莊内砂丘メロン**」を、和歌山の「あらかわ桃」を送ってくれたM村さんと美味さを確認するため神戸の田中にも送る。知らなかつたが、いの辺りは砂地でメロンの生産に適しており、ブリンドルのタ張メロンが豊かな味や、タ張と遜色ないぐらくなつて美味であった。鳥海山



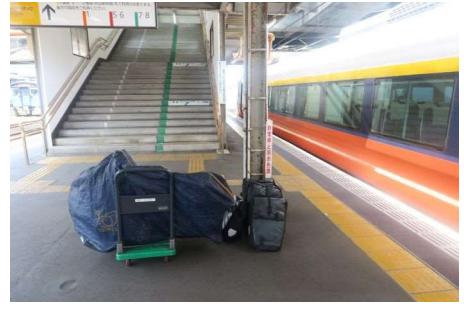


横インと回り
ビルにあるシ
アターで、草
笛光子主演の
「90才何がめ
でたい」を観

る。昨年百歳にな

った小説家の佐藤
愛子先生が、自ら
の体験を基に書い

た小説で、なかなか面白かった。ホテルから
台車を借りて、ホームまで自転車とバッグを
2回に分けて運び、既に「特急スーパーつ
がる」が入線していく、見ると、新潟から乗
った「特急いなほ」と全く同じ車両



地鶏」だわり鶏め
し」における、定
価は1,100円だが
おじやんが「1,200円でここ」と呟いてくれた、アホナシキ
1。売店じゃ絶対あわてられないの、正解!。特急は4回編成で1
両が自由席だが、休日なのにガラガラ…大丈夫だらうか心配になる。
意外とかかる2時間半の車窓旅を終えて青森駅に着き、自転車を組み
立て、青函連絡船乗り場があった場所へ行くと、アオモリのセレコ
メンツがあるむ、人が多いし、眺めもイマイチ。でも近くにあつた、
コンベが二つに割れていて「あおもりびっくりくん」は、口が開いて
ころよいで面白い。阪神は、今シーズン調子が悪い伊藤が珍しく好投
し、横浜につーーで勝ち、何とか借金生活をまた免れる。

【本日の旅費】¥16,593 (ホテル¥6,745+バス¥5,170+etc)
●2024年7月7日(日) 15時45分 磐石 西の丘
青森駅→フリーターミナル→函館港→函館駅
今日は、ホテルからのお口せじ離れて、函館港→函館駅へ向かって走



ホームに売り子
と思っていたが、
ホームに売り子



り、フェリーに乗って

津軽海峡を渡り、函館

までの旅。7時に起き

て、大谷さんの試合を

観ながら、ホテルの朝

食をゆつぐうと頂く。

その大谷さんは2000円

ホームランを放ち、ブ

リュワーズに5-3で勝ち、朝から気分よし。昨夜

から雨が降っていたが、出発する10時になると、

一度、雨が止んだので、ホテルを出て、走っていき

る。

「のっけ丼」の幟が目に入り、市場みたいな「青森魚菜センター」

があるので、入ってみた。海鮮がいっぱい載っている「のっけ丼」は

テイクアウトでもないので、中トロ、サーモン、マグロ、ハマチ、い

くら、ワナギ、卵など、一目170円の丼

を取り、合計1530円を払おうとするが、お

店のおねえさんが、「1300円ですよ」と

云ってくれて、メチャ得した気分になれる。2

0分で青函フェリーに着き、7年

ほど前だらうか、お盆休みに田舎で、JR

から函館へ渡りうつしつたり、三日先まで予約

いよいよ乗れなうといふわね、メチャシコック

だったことを思い出す。津軽海峡を渡るフ



リーワードは二社あり、ひとつは**津軽海峡フェリー**、もう一つは**青函フェリー**。

今回、出航时刻の関係で青函フェリーの方を予約したのが、あとで、青函フェリーの方が、断然安いことがわかり、

チビッキー。調べ

ると、乗用車の場合で、前者が27-100円、後者が1-100円、自転車で、前者が37-20円、後者が5-50円だから、全然違うのだ。船の大きさも、異なっていて、高い前者の方が大きい。航行時間はどちらも約4時間で変わらないので、安い青函フェリーの方が良さそうだが、観光客には、多少高くて快適な船旅が楽しめぬ豪華な津軽海峡フェリーの方が人気あるらしい。ケチな筆者には理解できない…。4時間の船旅を終えて函館港に入ると、対岸にかつこいい船舶が停泊しており、「なつかんワールド」と書いてある。調べると、ワカータージェットエンジンを搭載した高速フェリーで、青函



間で運航していたが、12年前に運休となり、今は、防衛省が借りているらしい。速くても燃費が悪いので、民間ではきっと割りが合わないのである。函館と云えば十方歳三の「五稜郭」、マンホールにそれが描かれている。そして、北海道へ来たあゝ感がある「セイコーマート」もある。16時、東横イン函館大門店にチェックインして、夜は、函館在住のサークル仲間3人と楽しい食事会をして、23時に寝る…。

【走行距離8km 獲得標高663m】

【走行時間〇：322 平均速度14.8km/h】
【本日の合計】￥18,198



(レトナ ¥6,460、ラムニーナ ¥3,320、ロカボ ¥5,000)

2024年春のチャリキャンプリヒツ旅(その十)

野田俊

●2024年7月8日(月) 530円 晴れ曇り 南西6m
函館→七飯(ななえ)→大沼



今日は、函館の北に位置する大沼公園にあるキャンプ場までの9キロの短い旅。北海道のヤクルトと云われている「カツゲン」やヨーグルトなど、東横インでは珍しい健康的なのも頂きながら、目一杯食べて、の時半に出発すると、トラピスト修道院と北海道新幹線と駒ヶ岳が描かれたマンホール



○○三九よつとアツブする交通量の多い国道5号線に入る
も、路側帯が広いので、危険はない。トンネルを越えて、大沼へは行かず小沼沿いに進むと、筆者が好きなジンサイ沼が



ルを発見ー函館らしくて宜し。国道を避けて、農道を走っていると、その新幹線が走る高架鉄道が延々と伸びていて、その先には、終点の「函館北斗駅」と東横インのビルが見える。七飯町にある道の駅「なないろ・ななえ」では、やたら函館ワインが置いてあり、

その中に、「世界最深級の海底ワイン」と云う珍しいのがあったので、荷物になるけど、購入する。じつも地下2800mの青函トンネル内にある「はいだてワイン青函蔵置所」で1年間熟成させたワインで、お値段は1760円とコーズナブルだ。大沼まで1



見えてくる。ジュー
ンサイといえば秋
田だが…。キャン

プ場の手前まで来
ると、函館辺りに
多い「びっくり

ドキ」風のレス
トラン「ラシキーパ

ヒロ」を発見! 4年
前に、函館で初め

て入り、なぜかエルビスプレスリーがいたが、オムライスを頂き、普
通に面かつた記憶がある。大沼公園には「東大沼野営場」という無料
の湖畔のキャンプ場があるが、日帰り温泉が少し離れているので、今
日は、温泉が隣接している駒ヶ岳が望める有料のキャンプ場にある。

2000円払って受付を済ますと、生ビール

のウエルカムド

リンクが付いて

いて、大阪王将

の餃子チャーハ

ンと共にランチ

タイム。広いフ

リーサイトに設

置後、「かやぱ



林館」と云つて帰つ温泉に入り、クリーミンチューを作つて、テント
内で風間に買ったワインと共に。1年間海底で熟成させたワインは、
フルボディのようにならなくておかず。

【走行距離360km 獲得標高266m】

【走行時間2:27 平均速度14.7km/h】

【本日の会計】¥7,295

【ファンガートンツセキャンプ場評価: 2の5星】

フニーサイトが草地で広く、温泉が隣にあり、炊事場の水が温泉のお
湯になつてゐるのなこいが、2000円はチト高い上に、水場もで遠
く、東屋などの雨除けできる施設は全くなく、自転車ソロキャンプに
ひとつはイマイチ。

●2024年7月の日(火) 54日目 曇り一時雨 北東23

今日は、週末の北海道のBラン路程に合わせるために、天候もイマイチ
なので、いじのキャンプ場に連泊とする。朝食後、雨が降りやうなの

で、自転車に雨除けカバ
ーを掛けながら、10時

に温泉施設へ。玄関に

は、「駒ヶ峯温泉ちやつ

ぷ林館」のプレートがあ

り、駒ヶ岳の形を模して

いる。12時、お風呂に

入り、ランチはジンギス
カン定食とピールを頼む



と、軽便帽でね組
をトライのを始めた
ところだのと、
100円しかない
…やの上、売店

煮を貰つたので、
で、ワカサギの佃

残金は340円の
み。心綱いが、明



れいじ大丈夫だわい…。休憩屋で面接をして、1~2時、あたな町に入つて、キャンプ場へ戻るが、カバーが風でぬれてしまひ、風間、雨が降つてたので、フロントバッグがヒンタシヒン震れていぬ…。チヨコラク、やうじゆやんじカバーを固定しておけば…と悔やむ。しかし、久しぶりに作ったカレーがうめこ、阪神や、ヤクルト近本のヒョウでかわいい勝ち!

【本日の旅】¥4,250

●2024年7月10日(水) 16:00 晴れ曇り 鹿東3E

大沼→森→芦部(ねぶ)→八雲



今日は、木々下で有知だ噴火湾の西側にあるハ雲のキャンプ場まで約40キロの旅。距離は短めだが、交通量の多い危険な国道の面線を走るしかないのだ。峠を越すのが怖いな。快晴の中、の脚半、駒ヶ岳をバックに出発ジャンプを決めて、北へ。進むにつれて刻々と形を変へる駒ヶ岳を眺めながら、トウモロコシや大豆畑を





通り、つば駒ヶ岳駅近くにあり郵便局でお金をおろして、ひと安心。ここから、国道5号に入り、坂を下ると、ツツジの恵山や間欠泉の鹿部への分岐点があり、行つてみたいが、今回はスルーして、いかめして有名な森町へ。買い出しのため、山あいを通る国道を外れて、町中のスーパーへ寄り、そのいかめしがたくさん陳列されており、地元の人にも愛されていることがよくわかる。森田せ、駒ヶ岳の北西に位置しているので、マンホールにも、雄大な駒ヶ岳が描かれている。「森桟橋跡」と彫られた石標があり、その横には「イザベラ・バードが歩いた道」の案内板がある。彼女は北海道をひとりで旅した最初の英國女性旅行家で、146年前の明治1年、函館からこじまで来て、船で室蘭へ渡つたらしい。帰国後、旅した東北と北海道を「日本奥地紀行」として纏め、世界に紹介した、とのこと。あわび?と



通り、つば駒ヶ岳駅近くにあり郵便局でお金をおろして、ひと安心。ここから、国道5号に入り、坂を下ると、ツツジの恵山や間欠泉の鹿部への分岐点があり、行つてみたいが、今回はスルーして、いかめして有名な森町へ。買い出しのため、山あいを通る国道を外れて、町中のスーパーへ寄り、そのいかめしがたくさん陳列されており、

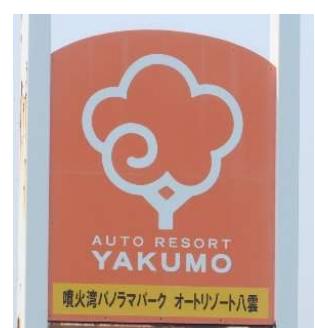
地元の人にも愛されていることがよくわかる。森田せ、駒ヶ岳の北西に位置しているので、マンホールにも、雄大な駒ヶ岳が描かれている。「森桟橋跡」と彫られた石標があり、その横には「イザベラ・バードが歩いた道」の案内板がある。彼女は北海道をひとりで旅した最初の英國女性旅行家で、146年前の明治1年、函館からこじまで来て、船で室蘭へ



云われれば、そんな町は世には浮かばないし、都道府県でも、青森県しかない。「噴火湾パノラマパーク」から近い「オートリゾート八雲キヤンプ場」は、6年前に泊まったことがある、あの時は、メチャ高くてヤンプ場」は、6年前に泊まったことがある、あの時は、メチャ高くてイメージがあつたが、今回の利用料は1350円で、インフラも整っているので、リーズナブルな料金だ。土田は平日の倍あるらしいので、来るなり平日である。ランチは、セロマのカツ丼とマカロニカラダに缶ジール。広い草原のフリーサイトの中で、炊事場やトイレに一番近い端っこに設営し、110円のお得シャワーを浴びて、タエッセン。阪神は、ヤクルトに4-1で勝ち、4連勝



八雲町
Yakumo Town



【走行距離 46.2km 獲得標高213m】

【走行時間 2:21 平均速度 19.6km/h】

【本日の金額】¥4,621

【オートバイヘルメット評価：40点】

フリーサイトの週末や夏季料金は2700円と高いが、平日は半額になるので、泊まるなり平日である。フリーサイトには雨除けできる東屋や炊事場はないが、シャワー、ランドリー、ウォッシュ、保冷剤冷凍など、設備が整っている。

●2024年7月11日(木) 15:00 晴れ 南23

八雲→国縫(くにぬい)→ピリカ(美利河)



今日は、海岸線を北上し、長万部（おしゃまんべ）手前の国縫（くにぬい）から内陸部に入り、北海道の田舎の集合地であるピリカのキ



で、適当に野宿したのだらうか。ハ雲から25キロほど国道5号を走り、国縫から160mの美利河峠を目標とする。体感温度が35℃を超える中、ヒーヒー登つてこねど、前方に軽自動車が停まり、お母さんが降りてきて、「頑張ってね~」と、ゆずれもんサイダーをくれる。一チ嬉し、そして感謝である。比較的楽勝の美利河峠に着くと、今金町のキャラクター「ピーリーとピーカ」が迎えてくれる。ショーケンの仲間である「ピリカカイギュウ」の化石がこの町で発掘されたりしい。上つてこる途中、冬の積雪時に路肩がわかるよう



ヤンプ場まで約40キロの旅。の時半、キャンプ場を出発し、ハ雲のスーパーへ寄るとい、筆者と似たような4サイドバッグのおじさんが多い。しかもサンタルまで一緒にので、避けて反対側の方に自転車を停める。この辺には他にキャンプ場がないの



に、紅白の矢印が並んでいて、高さに設置されていて、よく見ると、小さいソーラーパネルが支柱に付いている。暗くなると、矢印のLEDライトが光り、吹雪でも路肩がわかりやすくなっているのだろう。12時半過ぎ、宿泊施設のクアプラザシリカに着き、受付を済ませて、施設内の休憩コーナー

で、セコマの親子丢とポテトにサッポロクラシックのランチ。食後、施設内のお風呂に入つてから、隣接のキャンプ場へ移動して、炊事場の隣に設営し、タエッセンの力レーを作つて、20時には寝る。



今日は、北海道の田舎の初日で、ソラカラブリザリに集まるので、ランナなし。6時に起きて、メシを炊いていると、炊事場の網に止まっているホタルを見つける。小さめなので、ヘイケボタルだ。の時半、テントを撤収して、ホテルへ移動し、休憩コーナーでパソコン作業。壁に「カレー

● 2024年7月12日（金） 57日目 晴れ 西4m



アイランド北海道」のスタンプラリーポスターがあり、十別のサフオード（羊）カレー、利尻の木タフライカレー、富良野のオムカレー、そして日本唯一の町、ハ雲の二海カレーもある。ホワイトルーとの二色になつている。ランチは、ホテルのレストランで、香味イワシソースと鶏ザンギの定食。どちらも美味しい。ホテル側が

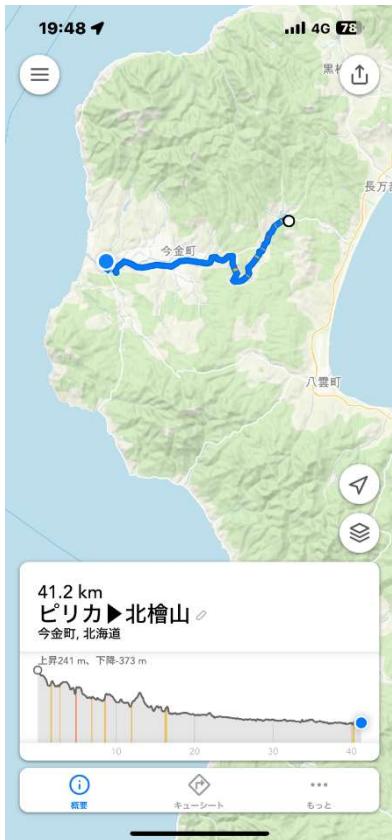
13時に部屋を空けてくれたので、部屋でのんびりしたの

ち、続々と到着するOBたちを迎える。10台以上ある自転車は、ホテル側



【走行距離 42km 獲得標高 244m】
【走行時間 2:36 平均速度 160km/h】
【本日の余計】¥4,157
【ペニカキャンプ場評価：40点】





が倉庫を開放してくれて、ランドリーも業務用のを無料で貸してくれ、とても良心的ないいホテルである。阪神は、村上が先発するも、高橋を全く打てず、中日に〇—3の完敗を喫する…。夜の宴會では、北大CCの創立65周年記念Tシャツが配られて、プチ嬉





つんが多い、筆者の的には選択ミス。しかし、畑や田んぼがある普通の道なのに、道端にヒグマの糞が！ヒグマは、同じ場所にする習性があるようで、乾いた古い糞の上に新しいのが乗っており、今朝の糞かもしれないと思つと、プチビビる。そして、せたなの町に近い浮島公園に寄ると、池を一周する遊



赤道に近い、「熊出没注意」の立て札が一池中央部に見える浮島が本物かどうか、一周して確認したかったが、諦めね…。せたなと並んでいる「三本



「杉岩」だが、ホテルから少し離れていたので、ひとり、ホテル北檜山のレストランへ、もつ鍋を注文。期待していなかつたが、意外に珈琲。夕方には、みんな全員が揃い、酔っ払の前に全体写真を撮り、宴会では、ひとりひとり、近況や今日のワン件について報告し合う。立派から美利河種川林道コースを選んだ3人による、ヒグマの糞があちこちにありました。道南地方は、近年、ヒグマの出没や被害が多発している。ホンマ注意しなければならない。阪神は、中盤までコーデである、伊藤や漆原が打たれて、中止となりました。逆転負け…

【走行距離44km 獲得標高17m】
【走行時間2:30 平均速度16.9km/h】
【本日の会計】¥11,738 (ホテル¥9,350)



●2024年7月14日(日) 5の田 晴れ 西35
瀬棚(北檜山)→太田神社→瀬棚(北檜山)



今日は、ルート図のように、海岸線を南下し、断崖絶壁にある太田神社に寄ったあと、内陸部を北上して瀬棚に戻る約60キロの巡回コースだが、筆者は、幹事なので、自転車には乗らず、後輩のレンタカー



を借りてサポートすることに。の時半にホテルを出発して、先に太田神社の入口に着くと、一人乗りの自転車「タンデム」が停まっている。装備から見て、欧米人のようで、あとで下りてきた外人に聞くと、カナダ夫婦で、上の神社まで登つたりっこ。





路盤下に、
おじさん
一人座つ
いて、地元
の人らしい

で、標高

350m地点にある神社までの登山時間を聞
くと、往復の時間もかかるとのこと。ある
大汗をかいたバイクおじさんが下山して
きて、聞くと、なんど70分で往復した、と

のこと。回りや登りでこのペースで110分。
11時頃、本隊が到着したので、
20名全員で急な階段に並び、記念撮影して、筆者を仰る精
銳の如き神社攀登山は、30度ほどの急な壁面を駆け始めた。
階段のあとは急な登山道を絶り、最後は鉄輪の鎖に手と足を掛けながら



い、垂直の壁をよじ
登り、50分で何と
か本殿がある洞窟に
到達するや、後輩が
何度も脚が痙攣のほど
過酷な道のりであつ
た。狭い洞窟には、
小さな祠があり、お
祈りをしてから、慎



雪ノ木川ユコヒ、13
時頃で、全員無事に
帰還する。このハ雲
駅から東京へ帰る工
野先輩を車で駅まで
送り、10時半頃、
ホテルに戻ると、1
日休眠、既に戻つ
てね、ホッとする。
温泉に入り、1

0時かい夕食、2次会を経て、遅めの23時半で寝る。阪神は、中口
に延長戦で向いか勝利、駿金川。

【本日の旅費】 ¥9,429 (ホテル¥8,800)



2024年春のチャリティキャンプひとづ旅（その十一）

●2024年7月15日（月） 60回目 晴れ

野田 俊

瀬棚→モッタ岬→泊川→ニセコ→札幌



今日は、M木氏の車で、札幌までドライブ旅。五日後に札幌である「クリエイト創立65周年記念式典」に出席するので、五日かけて自転車で札幌まで走る予定を立てるが、二日後、エスコンフィールドへ行く予定を入れたので、札幌へ戻るM木師に便乗させてもらつことに。の時半、みんなで解散写真を撮り、

まずは日本海沿岸を北上。せたな町と島牧村の境目に位置する茂津多トンネルまで来ると、茂



津多岬に繋がる道があり、4年前、自転車でここに来たが、岬までの道のりを地図で確認して諦めた記憶がある。そのリベンジじゃないが、今回は車なので、標高270m地点にある岬までアップ、2キロほどの狭い道を進み、岬にある灯台に向か着くも、勾配はそれなりに、クマが出そうな道なので、自転車じゃなくて良かっただと思つ。知らなかつたが、昭和12年に建てられた茂津多岬灯台は、当時、日本で一番高い場所にあり、一



鹿の湯」があるので、川沿いに途中まで伸びていて道道83の脇線を進み、長いトンネルを抜けると、突然、道が無くなっている。この先の山を越えると、先日泊まったピリカに繋がっており、どうやら、トンネルまで掘ったけど、ここで道路建設が頓挫したようだ。トンネルはバブル崩壊後の27年前に完成しており、もったいない話である。釣りか登山をする人だらうか、車が数台停まっているだけで、温泉の看板などは全くない…ある

と、奥の方から人が出で

きて聞くと、温泉はこの

先の橋から川へ下りてい

くとあるらしいので、橋

まで行くや下りる道がな

い。何とか下りる場所を

探して、川へ出ると、硫

黄と思われる赤茶けた岩

があるも、温泉は湧き出

ておらず、川そばの水たまりから、わずかに水泡が底からふつふつと浮いてきているだけである…何らかの理由で枯れてしまつたのだなり…ブチ残念。でも、橋へ戻る途中、鮮やかなオレンジ色をした百合系のお花を見つける。クルマユリかと思ったが、葉っぱの形状が異なるので、花アブリで調べると、北米の外来種で、「リリウム・ミキガネンセ」と云うユリ科のお花で、観賞栽培用として輸入され、毒性があるとのこと。寿都（すつ）の町から内陸部に入り、ニセコの湯元温泉にある「雪秩父」で味噌ラーメンを食べて、一周200mの大湯沼を遠目に見る。一周している人がいるが、硫黄臭が



やつべ、ガス中毒にならぬかもしないので、廻の氣にはなれない。1

の時過ぎ、札幌に着き、すすきのの東横インまで送つてもらい、洗濯、夕食を済まして、20時に寝る。阪神は大山と梅野の活躍で、巨人に2-0で勝ち、貯金は4つ。

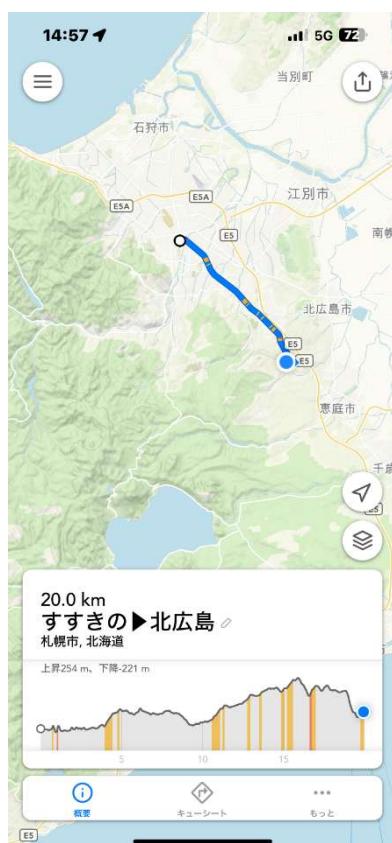
【本日の会計】¥1,285（ホテル代ポイント扱い）

●2024年7月16日（火） 61日目 晴れ 南東6m

すすきの→月寒→北広島



今日は、札幌近郊で見つけたリーズナブルなキャンプ場がある北広島まで約20キロの旅。朝起きると、一日前に瀬棚のホテルの部屋で蚊に刺された足の裏が痒い…他にも数カ所刺されていて、キャンプ場ならまだ納得するが、ホテルでやられるのはブチムカつくわ！。10時半、すすきののシン



ボルである「ニッカウヰスキーのひげおじさん」をバックに出発ジャンプを決めるも、人通りが多いので「チ恥ずかし…知らなかつたが、このひげおじさんば、ローリー卿」と云う



19世紀の英国人で、「キング・オブ・ブレンダーズ」と呼ばれるほど、ウイスキーをブレンドする名人らしい。北大の校歌にも歌われている札幌では有名な豊平川に架かる橋を渡っていると、河川敷にテントを張っている人が！泊まったのかどうかはわからないが、



「トイキャンプとしても、許可がないと絶対ダメでしょ！聞いてみたいけど、逆切れされると面倒なので、スルーして、札幌と室蘭を結ぶ主要幹線道路の国道3の旁線を南下していると、キャンピングカーが何台も並んでいる。じなか忘れたが、千歳空港でキャンピングカーをレンタルして、夫婦で一週間ほど道内を巡る旅をした話を聞いたことがある。調べると、「NUTS」と云う全国に展開している国内最大のレンタルキャンピングカー会社で、料金は一日2～3万円。高い気もするが、ペットが一緒で、ホテルに泊ま



れない家族連れな

ら安いのかもしない。北広島市に入ると、看板にある有名なクラークさんが描かれている。クラークさんは札幌の羊ヶ丘にある腕を掲げた銅像が有名だが、彼が札幌を離れる際、惜別の学生さんたちに「ボーライズビーアンビシャス」と腕を掲げた場所が、「旧島松駅



と云う馬が休憩する駅で、その地が北広島市内にあれば、最近まで知らなかつた…12時半、「北広島市自然の森キャンプ場」に着き、管理棟のテーブルで、クーラーでメチャ冷えた缶ビールを飲みながら、いつものセコマカツ丼と鷄サンギのランチタイム。ほほ北海道でしか見られないセコマ（セイコーマート）では、店内のキッチンで親子丼や焼き肉丼などを調理してホットケースで即出ししているので、うまいのだ。ランチ後、広いフリーサイトの一角に設営して、テーブルでパソコン作業をして午後の時間を過ごす。人気のあるキャンプ場なのか、平日なのに、トイキャンプしているグループが結構いる。17時を過ぎ、タエッセンをしようと炊事場へ行くと、



ハンチ後に乾かして置いたらボンジとワンカップが無くなっていた
ぬではないか。管理人のじいちゃんが捨てたのか、と思い聞くも、知
りなことのこと。きっと、トイキャンプの若者グループが炊事場で片
付けでいたので、その際一緒に持つて帰ったのだなう…。ブチショック
ク。阪神も、や木が好投するが、大山と梅野がチャンスに打てず、1
ー2の負け…

【走行距離21km 獲得標高21m】

【走行時間1:33 平均速度13.4km/h】

【本日の合計】¥2,177

【北広島市自然の森キャンプ場評価：3.4点】

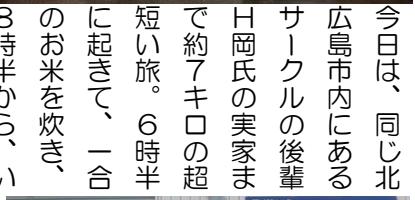
お風呂、リンドリー、充電、保冷剤冷凍はできないが、草のサイドは
広々、ウオッシュ台あり、電波OKなので、まあまあ。料金も400円
とお安く、アクセスも悪くないので、また来たいキャンプ場である。

●2024年7月17日(水) 6月17日 晴れ 南東4m

北広島市島松→竹山高原→北広島市高台町



カサギの佃煮も添えて朝食タイム。10時、キャンプ場を出て、5分
ほど走ると、紫のリベンダーが咲く花壇があり、クリークさんのポー
ズをしている人形が歌っている。アンビシャスから取った「ア・ハピ・ウ
オーター」と云う湧き水を販売している会社
で、NO FLOWの田と書いてある。奴いのか高いのか高
いのか、よくわからない。国道3の卯線を横切
り、谷を越えて50mほどアラップすると、「竹
山高原ホテル」に着く。いや、日帰り入浴と
ランチをしながら、15時頃まで時間調整する
つむりだったが、食堂は閉鎖中と云われ、近く
にレストランもないのに、ブチショック…休憩
室はあるので、昨日入れなかつたお風呂に入
り、パソコンで旅レポート執筆作業。14時半、木



今田は、同じ北
広島市内にある
サークルの後輩

H岡氏の実家ま
で約7キロの超
短い旅。6時半
に起きて、一合
のお米を炊き、

テルを出で、ラップ
ダウンの道を走り、
30分ほどで工岡れ
ん邸に到着。やしお
うちにお世話をねる
のだが、メインは、
前から行きたかった

H&Pハイールドで
あり、二万円ほど前



だらうか、ロハムの休暇である工岡氏にお願いして、サケシマを購入
してやったのだ。84歳になれたる工岡氏のお母さんと大の日
ハムファンで、東京在住の工岡氏の奥様も丁度来られたので、4人一
緒に、タクシーの球場へ。1の時に入り、おおせ、外野席の

上位にあるイートコ

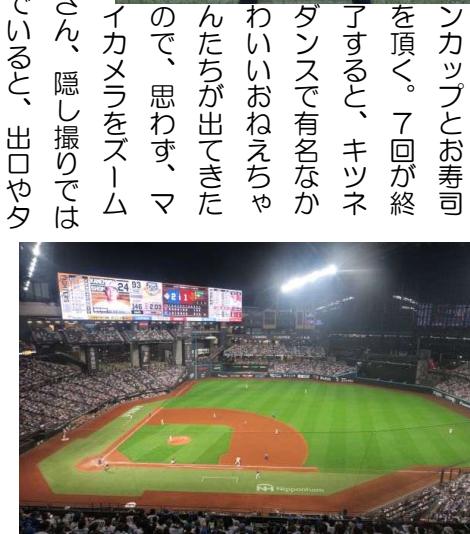
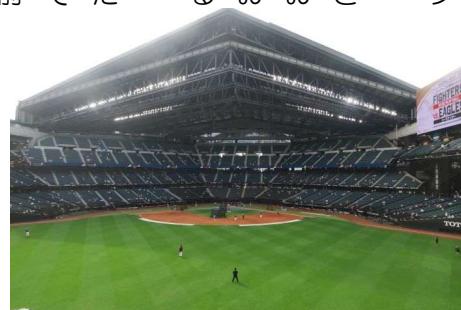
ーナーへ行き、生ビ
ールで乾杯!メジャ
ーの球場みたいだ。

行つたことないけど

…試合開始前に内野
三塁側の指定席へ移
動し、楽天との試合
を観戦しながら、ワ

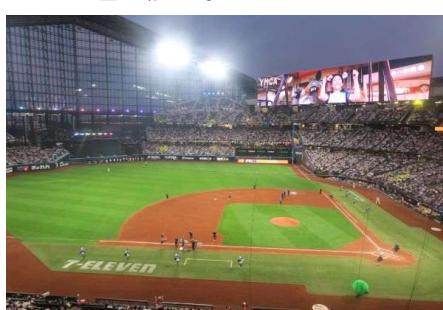


テルを出で、ラップ
ダウンの道を走り、
30分ほどで工岡れ
ん邸に到着。やしお
うちにお世話をねる
のだが、メインは、
前から行きたかった



テルを出で、ラップ
ダウンの道を走り、
30分ほどで工岡れ
ん邸に到着。やしお
うちにお世話をねる
のだが、メインは、
前から行きたかった

H&Pハイールドで
あり、二万円ほど前

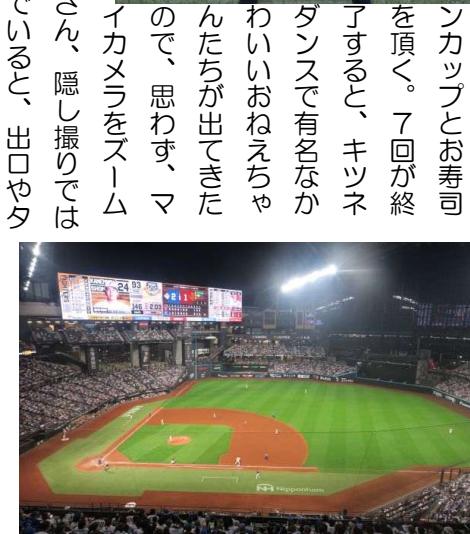


今田は、20キロほどの距離で、サークル回期の木曜や祝日の樂
勝旅。木曜には10時頃に仕事で出でるが、途中の休憩の間隙
で週1回の練習をやる。2時半に起きて、工岡氏が手打ちしてくれたお

北広島市高台町→羊ヶ丘→札幌市遼川

【走行距離7km 獲得標高144m】
【走行時間0:36 平均速度12.3km/h】
【本日の休憩】¥11,560 (H&Pサケシマ¥3,000 他)

●2024年7月18日(木) 晴れ 横30m





蕎麦をまず頂く。自分もそば打ち歴20年ほどだが、製粉会社に勤めていた彼の腕はプロ級で、めんつゆも自作、茹で方も研究していて、150グラムの蕎麦を、4・5リットルもある沸騰した水に投入し、蓋をして再沸騰したら、25秒後にザルで掬うのが、丁度いいらしい。お母さんも凝り性で、素敵なお手本。お庭を一周しながら、丁寧に説明してくれて、84歳とは思えない元気さである。10時過ぎ、4人で記念撮影をして、お世話になったH岡氏宅をあとにする。H岡氏は、母の面倒を見るために、3年前、北海道に単



物「ラーメンサラダ」を注文し、ランチタイム。ここへ来る途中、道の駅に寄り、夕張じゃないけど、美味しそうな大きめの地元産ネットメロンが2000円で売っていたので、2個買って、今日と明日お世話になるおうちへの手土産にする。重たいし、嵩張るし、でも何とかサイドバッグに入れれる。ここは温泉施設だらけで、半個室のような小さな部屋がいくつもあり、その一つに入ると、丁度一人が横になれるスペースで、寛(くつろ)ぎやすい。そこで、18時前まで過ごしたあと、M木宅まで走り、車庫に自転車を置いてから、夜は、すすきのの安くて美味しい「グラント居酒屋富士」で、同期3人の飲み会。

【走行距離230km 獲得標高2333m】



身で戻って来だが、弟さんに母を任せ、妻と暮らすため東京へ戻るとのことで、この4シヨットは、ある意味貴重かもしれない

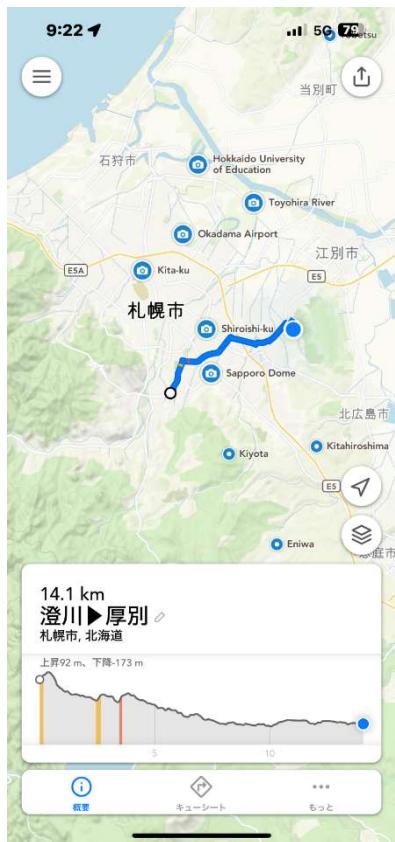


【走行時間1：27 平均速度 16.0km/h】

【本日の合計】¥10,644 (メロン¥4,000(税込))

●2024年7月1日(金) 64日目 暫り雨 南東5m

札幌市澄川→大谷地→厚別



今日は、札幌市東方の厚別にあるサークル後輩の丁口氏宅まで約15キロの短い旅。土曜日の明日、札幌で開催される北大サイクリングクラブの5周年を祝う会に出席するため、三日前の火曜からずっと札幌近郊をうろついていた。本来なら、OBランがあった瀬棚から札幌へ向かって走っていれば丁度いいタイミングなのだが、水曜にエスコンフィールド観戦があるが故、こんなだらけた軟弱旅になっているが、そんなのんび



りした旅ができるのも、泊めてくれたり、一緒に食事してくれる同期や後輩がいるからであり、感謝しかない。パン、コーヒー、カツゲンの軽めな朝食を頂き、8時半、出勤するM木さんと一緒に出発ジャンプをするも、じつちも決まりず、変なポーズになり、笑ってしまう…。大谷地と云う町を走っていると、セコマの看板がやたらある工場群なのか倉庫群なのか、セコマ通りがあり、「チビっく！」。厚別手前にダイソーがあったので、上の前のキャンプ場で盗まれたスポンジを探すと、全く同じのがあったので、即購入。結果論だが、前のはだいぶ汚れていたので、丁度良かったのかもしれない。それでも、9時半には厚別へ着いてしまい、田当ての日帰り温泉は11時からのもので、最寄りのガストでコーヒーを飲んでから「森林公園温泉きよら」へ。4,00円安いのはいいが、雑魚寝できる休憩室がなく、ロビーに椅子とテーブルがあるだけ…しかも食堂もなく、軽食類があるだけなので、長居できないようしている感じだ。でも、18時半までいるしかないのに、温泉に入り、ナボリタンと唐揚げを





札幌市厚別→苗穂→札幌駅

●2024年7月20日(土) 6:50出発 晴れ 南東3m

【走行距離 17km 獲得標高350m】
【走行時間 1:02 平均速度 16.0km/h】
【本日の予算】¥2,391

村上が好投するも、広島に0-1の完封負けを喫す…

食べべ、風景をして、300田のマッサージを受けて、大相撲を観て、夕方まで頑張る。最新式のマッサージ器は無重力状態になれるとい書いてあったが、そんなことは全くなく、ただただ痛くて全然気持ちよくなかった…。今回で3回目になる丁口宅では、手作りのローストビーフにカラフルなサラダ、そして手巻き寿司が用意されていて、ただただ恐縮しながら、奥様のかさんど3人で楽しい食卓を囲む。阪神は、



今日が、札幌駅付近の東横インまで自走して、17時から65周年式典に出席する予定。丁口氏特製スマージーに加え、焼きシャケ、納豆、生卵の定番朝食を頂き、10時にお世話になったおうち



を出発すると、1時間で札幌駅に着いてしまい、ホテルは北大正門前にあるので、自転車をホテルに置いて、北大構内に入り、中央ローンと北の憩いの公園を歩いていたが、結婚式の前撮りをしている人たちがいて「チビッタ」。こんな人通りの多いところでも恥ずかしいわ、と思つたが、本人たちは記念になるので、そんな気持ちは微塵もないんだろう。中央ローンのベンチで缶ビールを飲んでいると、小倉在住のサークル後輩M下氏が、缶ビールとつまみを持ち、若学生のような汚い恰好で現れて、「チビッタ」。式典に出席するため、昨日、九州から着き、いじのベンチで軽く飲もうと來たらしく。なので、一人で、再会の乾杯をして、1時間ほど小宴会をして一旦別れ、14時からは、構内にある「ヒルムの森」と云うピアガーテンで、「アルコールが出ない式典の前に呑む会」と称して、OBランのメンバーを中心にして名ほどが集まる。やつて、2時間もあった式典のあとばあちゃんのへ

移動し、ビアホールで2次会。結局、13時頃から22時まで呑み続け、疲れる…。阪神は、広島に延長の末、中野のヒラードで一日連続O—1の完封負け…これで貯金はまたゼロとなる。

【走行距離 15km】
【獲得標高 463m】

【本日の会話】 ¥6,944 (カード決済料込)

明日の飛行機を予約しているため、今日は何の予定もなく、誰かを誘

A photograph showing two tall, slender glasses filled with beer on a wooden table. In front of them is a white plate containing several pieces of fried, breaded snacks, possibly chicken or fish sticks. The background shows the interior of a train car with a window and a digital display board.

とスムーズな対応に
チびっくり！ここから
送り返す人が多いか
ら、きっと慣れている
のだろう、と感心す
る。インカのめざめと
ロイスチップを大量に
買って、JALラウン
ジに入り、生ビールを
飲んでいると、クロネ



广島に圧勝。阪神は、一連敗の鬱憤を晴らすかのように、1-2点を取り、
なべて正解。阪神は、40%以上の勝利を取ったので、圧勝。

【本田の販売】￥10,648 (ナビ付￥17,505 他)

「ヤマトのマークを付けた飛行機が現れる——会社所有の専用機だつたら、さすがクロネコである。会社同期の木本氏が毎回見舞われるよつたトリブルや遅れが発生することなく、極めて順調に伊丹空港に着き、迎えに来てくれた嫁さんと自宅へ帰り、今回の旅が無事に終わる。さあ次回は、九州を巡る秋の旅だが、それまではうちでのんびりするとしている。ではござげんよう。

【本日の価格】 ¥12,377 (税込) → ¥10,707 (税込)

グ五個と共に快速Hアポートに乗り兼って、新千歳空港へ。しかし、今日も雪く、千歳の最高気温が32℃、神戸は回31℃なので、北海道の方が暑いとは…このあと1週間暑さが続くなりしが、チャリ旅を終えるには丁度いいタイミングかもしれない。空港の郵便局で、いつも送るのに苦労するクマ撃退スプレーをレターパックに入れ、窓口のおねがいに「陸便で」と伝うと、「クマスプレーね。わかりました」